

第七十五回
貴族院

會計検査院法中改正法律案特別委員會議事速記録第一號

昭和十五年三月二十日(水曜日)午前十時
十三分開會
○委員長(子爵加藤泰道) 是ヨリ昨日ニ
引續キマシテ會議ヲ開キマス、本日ハ先づ
恩給法中改正法律案ノ質問ヲ致シタイト思
ヒマス。

○村上恭一君 恩給ノ制度ニ付キマシテ一
般的ノ事柄ノ一ツヲ御伺ヒ致シタイト存ジ
マス、是ハ此ノ改正案ニハ直接ニハ深イ關
係ハナイコトカト思ヒマス、ソレハ近年恩
給ヲ受ケル人ノ數ハドノ位アリマスルカ、
又此ノ金額ハドノ位ニナツテ居リマスルカ、
恩給ニモ色々種別ガアリマス、大キク分ケ
マシテモ年金ト一時金トガアリマスガ、サ
ウ細カイ區別ニ依ラナクテ居リマスルカ、
マスガ、大體ノ所デチヨクト私ノ考ヘル處デ
ハ、年金ノ分ト一時金ノ分位ニ分ケテ戴イ
テ、其ノ各ノ人數、金額、其ノ總體アリ
マスガ、ソレハドンナ數ニナツテ居リマスル
カ、且又ソレガ近年年々増加スル事實ガア
ルデアラウト思ヒマス、當局ノ御手許ニ差
分ナリ五年分ナリノ全體的ノ統計ヲ御示シ
ヲ願ヒタイト思ヒマス。

○政府委員(平木弘君) 只今ノ恩給金額、
受給人員ノ大體ヲ申上ゲマス、御承知ノ通
リニ恩給金額固給受給者ハ支那事變ニ因
テ最近非常ナ増加ヲ來シテ居ルノデゴザイ
マス、堵一應事變前ノ狀況ト事變後ノ狀況
ヲ比較ヲシテ申上ゲマスレバ、事變前デア
リマスル昭和十二年末ニ於キマシテハ受給

人員ガ大體四十萬デゴザイマス、ソレカラ
恩給金額、是ハ年金デアリマス、年金ガ

一億六千萬圓バカリデゴザイマス、ソレカ

ラ十二年ニナリマシテ、支那事變ガ起シタ譯

デゴザイマスガ、此ノ當時迄ニハ支那事變

ノ影響ヘ餘リ恩給ノ方デハ受ケテ居リマセ

ス、ト申シマスルノハ死亡其ノ他ノ恩給ノ

關係ガアリマス、昭和十二年迄ハ餘リ影響

ガゴザイマセヌ、大體十二年ニ於キマシテ

ハ受給人員四十萬、恩給金額ニ致シマシテ

年金一億六千萬圓、ソレカラ十三年ニナリ

マシテ多少人員、金額ニ於テモ支那事變ノ

關係ガ出テ參リマシテ、十三年ニ於キマシ

テハ受給者四十萬九千、金額ニ於キマシテ

一億七千三百萬圓、斯ウ云フ風ナ數字ニナツ

テ居リマス、十四年末ニ於キマシテハ只今

ノ處マダハツキリシタ數字ヲ申上ゲ兼ネル

ノデゴザイマスガ、金額ニ於キマシテハ大

體年金ガ一億九千萬圓カ、一億九千四、五

百萬圓ノ、此ノ範圍デヤナイカト大體考ヘ

テ居ルノデアリマス、人員モ五十萬近イ受

給者ノ數ニナツテ居ルノヂヤナイカ、大體ノ

數字デゴザイマスガ、サウ云フ風ニ考ヘテ

スガ、是ハ一時恩給、一時扶助料、傷病賜

金等ガアリマスルガ、此ノ方ノ金額ハ大體

年々二百四、五十萬圓、斯ウ云フコトニ相

成ツテ居リマス

○村上恭一君 只今政府委員カラ御話ガゴ

タモノノ印刷物デモアリマスレバ此ノ委員會

ニキマシテ頂戴スルコトガ出來ナイデア

リマセウカ

○政府委員(平木弘君) 承知致シマシテモ

恩給金額ガ年々增加スル傾向ガアルト思ヒ

マス、殊ニ此ノ事變ノ影響デソレハ一層著シ

イダラウト思ヒマス、其ノ恩給金額ノ增加ト

云フコトハ國庫其ノ他ノ經濟ノ負擔デアリ

マスルカラ、此ノ負擔ガ増加スルト云フコ

トニ付テハ我々モ大キナ關心ヲ持タナケレ

バナルマイト思ヒマスル、固ヨリ此ノ事變

ノ犠牲トナツタ人ダケヲ取ツテ考ヘマスレバ、

其ノ人々ニ給スル恩給ヲ減サウト云フヤウ

ナゴトヲ考ヘテハ相濟マヌ次第デゴザイマ

ス、恩給制度ノ全體カラ言ヒマシテ、國庫

其ノ人々ニ給スル恩給ヲ減サウト云フヤウ

ナゴトヲ考ヘナケレバナラス點グラウト思ヒ

マス、此ノコトハ數年前ニ天下ノ一つノ大

きナ問題トナツタヤウニ思ヒマス、皆様モ御

記憶デアリマセウガ、其ノ頃一部ノ人々カ

ラ恩給亡國論ト云フヤウナコトガ唱ヘラレ

マシテ、恩給金額ガ年々増加シテ行ク、遂

テ居リマス、十四年未ニ於キマシテハ只今

ノ處マダハツキリシタ數字ヲ申上ゲ兼ネル

ノデゴザイマスガ、金額ニ於キマシテハ大

體年金ガ一億九千萬圓カ、一億九千四、五

百萬圓ノ、此ノ範圍デヤナイカト大體考ヘ

テ居ルノデアリマス、人員モ五十萬近イ受

給者ノ數ニナツテ居ルノヂヤナイカ、大體ノ

數字デゴザイマスガ、サウ云フ風ニ考ヘテ

スガ、是ハ一時恩給、一時扶助料、傷病賜

金等ガアリマスルガ、此ノ方ノ金額ハ大體

年々二百四、五十萬圓、斯ウ云フコトニ相

成ツテ居リマス

○政府委員(平木弘君) 只今恩給增加シテ

マスルカ、即チ其ノ恩給金額ガ年々增加ス

ルコトハ構ハナイ、ソレモ或限度迄デアリ

マセウガ、或限度迄ハ構ハナイカス、ソレカ

ラ十二年ニナリマシテ、支那事變ガ起シタ譯

デゴザイマスガ、此ノ當時迄ニハ支那事變

ノ影響ヘ餘リ恩給ノ方デハ受ケテ居リマセ

ス、ト申シマスルノハ死亡其ノ他ノ恩給ノ

關係ガアリマス、昭和十二年迄ハ餘リ影響

ガゴザイマセヌ、大體十二年ニ於キマシテ

ハ受給人員四十萬、恩給金額ニ致シマシテ

年金一億六千萬圓、ソレカラ十三年ニナリ

マシテ多少人員、金額ニ於テモ支那事變ノ

關係ガ出テ參リマシテ、十三年ニ於キマシ

テハ受給者四十萬九千、金額ニ於キマシテ

一億七千三百萬圓、斯ウ云フ風ナ數字ニナツ

テ居リマス、十四年末ニ於キマシテハ只今

ノ處マダハツキリシタ數字ヲ申上ゲ兼ネル

ノデゴザイマスガ、金額ニ於キマシテハ大

體年金ガ一億九千萬圓カ、一億九千四、五

百萬圓ノ、此ノ範圍デヤナイカト大體考ヘ

テ居ルノデアリマス、人員モ五十萬近イ受

給者ノ數ニナツテ居ルノヂヤナイカ、大體ノ

數字デゴザイマスガ、サウ云フ風ニ考ヘテ

スガ、是ハ一時恩給、一時扶助料、傷病賜

金等ガアリマスルガ、此ノ方ノ金額ハ大體

年々二百四、五十萬圓、斯ウ云フコトニ相

成ツテ居リマス

○政府委員(平木弘君) 只今恩給增加シテモ

タモノノ印刷物デモアリマスレバ此ノ委員會

ニキマシテ頂戴スルコトガ出來ナイデア

リマセウカ

○政府委員(平木弘君) 承知致シマシテモ

恩給金額ガ餘リニ増加スルコトハ豫メ

防グト云フヤウナ御考ガアルノデアリマセ

ウカ、サウ云フ御考ノ下ニ法律ヲ改正ス

ルト云ツタヤウナコトガ考ヘラレ、又行ハレ

テ居ルノデアリマセウカ、ソレ等ノ點ニ付

キマシテ當局ノ御考ヲ伺ヒタイト思ヒマス

マスルカラ、此ノ負擔ガ増加スルト云フコ

トニ付テハ我々モ大キナ關心ヲ持タナケレ

バナルマイト思ヒマスル、固ヨリ此ノ事變

ノ犠牲トナツタ人ダケヲ取ツテ考ヘマスレバ、

其ノ人々ニ給スル恩給ヲ減サウト云フヤウ

ナゴトヲ考ヘテハ相濟マヌ次第デゴザイマ

ス、恩給制度ノ全體カラ言ヒマシテ、國庫

其ノ人々ニ給スル恩給ヲ減サウト云フヤウ

ナゴトヲ考ヘナケレバナラス點グラウト思ヒ

マス、此ノコトハ數年前ニ天下ノ一つノ大

きナ問題トナツタヤウニ思ヒマス、皆様モ御

記憶デアリマセウガ、其ノ頃一部ノ人々カ

ラ恩給亡國論ト云フヤウナコトガ唱ヘラレ

マシテ、恩給金額ガ年々増加シテ行ク、遂

テ居リマス、十四年未ニ於キマシテハ只今

ノ處マダハツキリシタ數字ヲ申上ゲ兼ネル

ノデゴザイマスガ、金額ニ於キマシテハ大

體年金ガ一億九千萬圓カ、一億九千四、五

百萬圓ノ、此ノ範圍デヤナイカト大體考ヘ

テ居ルノデアリマス、人員モ五十萬近イ受

給者ノ數ニナツテ居ルノヂヤナイカ、大體ノ

數字デゴザイマスガ、サウ云フ風ニ考ヘテ

スガ、是ハ一時恩給、一時扶助料、傷病賜

金等ガアリマスルガ、此ノ方ノ金額ハ大體

年々二百四、五十萬圓、斯ウ云フコトニ相

成ツテ居リマス

○政府委員(平木弘君) 只今恩給增加シテモ

タモノノ印刷物デモアリマスレバ此ノ委員會

ニキマシテ頂戴スルコトガ出來ナイデア

リマセウカ

○政府委員(平木弘君) 承知致シマシテモ

恩給金額ガ餘リニ増加スルコトハ豫メ

防グト云フヤウナ御考ガアルノデアリマセ

ウカ、サウ云フ御考ノ下ニ法律ヲ改正ス

ルト云ツタヤウナコトガ考ヘラレ、又行ハレ

テ居ルノデアリマセウカ、ソレ等ノ點ニ付

キマシテ當局ノ御考ヲ伺ヒタイト思ヒマス

マスルカラ、此ノ負擔ガ増加スルト云フコ

トニ付テハ我々モ大キナ關心ヲ持タナケレ

バナルマイト思ヒマスル、固ヨリ此ノ事變

ノ犠牲トナツタ人ダケヲ取ツテ考ヘマスレバ、

其ノ人々ニ給スル恩給ヲ減サウト云フヤウ

ナゴトヲ考ヘテハ相濟マヌ次第デゴザイマ

ス、恩給制度ノ全體カラ言ヒマシテ、國庫

其ノ人々ニ給スル恩給ヲ減サウト云フヤウ

ナゴトヲ考ヘナケレバナラス點グラウト思ヒ

マス、此ノコトハ數年前ニ天下ノ一つノ大

きナ問題トナツタヤウニ思ヒマス、皆様モ御

記憶デアリマセウガ、其ノ頃一部ノ人々カ

ラ恩給亡國論ト云フヤウナコトガ唱ヘラレ

マシテ、恩給金額ガ年々増加シテ行ク、遂

テ居リマス、十四年未ニ於キマシテハ只今

ノ處マダハツキリシタ數字ヲ申上ゲ兼ネル

ノデゴザイマスガ、金額ニ於キマシテハ大

體年金ガ一億九千萬圓カ、一億九千四、五

百萬圓ノ、此ノ範圍デヤナイカト大體考ヘ

テ居ルノデアリマス、人員モ五十萬近イ受

給者ノ數ニナツテ居ルノヂヤナイカ、大體ノ

數字デゴザイマスガ、サウ云フ風ニ考ヘテ

スガ、是ハ一時恩給、一時扶助料、傷病賜

金等ガアリマスルガ、此ノ方ノ金額ハ大體

年々二百四、五十萬圓、斯ウ云フコトニ相

成ツテ居リマス

○政府委員(平木弘君) 只今恩給增加シテモ

タモノノ印刷物デモアリマスレバ此ノ委員會

ニキマシテ頂戴スルコトガ出來ナイデア

リマセウカ

○政府委員(平木弘君) 承知致シマシテモ

恩給金額ガ餘リニ増加スルコトハ豫メ

防グト云フヤウナ御考ガアルノデアリマセ

ウカ、サウ云フ御考ノ下ニ法律ヲ改正ス

ルト云ツタヤウナコトガ考ヘラレ、又行ハレ

テ居ルノデアリマセウカ、ソレ等ノ點ニ付

キマシテ當局ノ御考ヲ伺ヒタイト思ヒマス

マスルカラ、此ノ負擔ガ増加スルト云フコ

トニ付テハ我々モ大キナ關心ヲ持タナケレ

バナルマイト思ヒマスル、固ヨリ此ノ事變

ノ犠牲トナツタ人ダケヲ取ツテ考ヘマスレバ、

其ノ人々ニ給スル恩給ヲ減サウト云フヤウ

ナゴトヲ考ヘテハ相濟マヌ次第デゴザイマ

ス、恩給制度ノ全體カラ言ヒマシテ、國庫

其ノ人々ニ給スル恩給ヲ減サウト云フヤウ

ナゴトヲ考ヘナケレバナラス點グラウト思ヒ

マス、此ノコトハ數年前ニ天下ノ一つノ大

きナ問題トナツタヤウニ思ヒマス、皆様モ御

記憶デアリマセウガ、其ノ頃一部ノ人々カ

ラ恩給亡國論ト云フヤウナコトガ唱ヘラレ

マシテ、恩給金額ガ年々増加シテ行ク、遂

テ居リマス、十四年未ニ於キマシテハ只今

ノ處マダハツキリシタ數字ヲ申上ゲ兼ネル

ノデゴザイマスガ、金額ニ於キマシテハ大

體年金ガ一億九千萬圓カ、一億九千四、五

百萬圓ノ、此ノ範圍デヤナイカト大體考ヘ

テ居ルノデアリマス、人員モ五十萬近イ受

大キクナリマシテ、前ニ較ベマスルト恩給
ノ一般會計ノ豫算ニ對スル割合ハ減ツテ居
ルヤウナ事實モゴザイマス、斯ウ云フ點カ
レ考ヘマシテ、多少恩給亡國ト云フ聲ガ聞
エナクナツタト云フノハ、サウ云フ點ニアル
ノデヤナイカト考ヘテ居ルノデゴザイマス、
併シナガラサウ云フ聲ガアリマスアリマセヌ
ニ拘ラズ、私共恩給局ニ居リマスル者ト致シマ
シテハ、出來マスレバ此ノ恩給ノ國庫ニ對ス
ル負擔ヲ幾分デモ輕減シナケレバイカヌト
云フコトハ、世間ノ聲ガドウアリマセウト
モ、私共常ニ考ヘテ居ル所デゴザイマス、
ソレカト申シマシテ、又一面カラ申シマス
ルト色々新シイ事情ガ出來マシテ、新シ
ク加ヘナケレバイカヌ事項モ色々起ツテ來
ルノデアリマス、或ハ又此ノ事變ノ關係
者等ノ待遇ヲ、好クシナケレバイカヌト
云フ事項モ起ツテ來ルノデゴザイマス、
サウ致シマスルト、今申上ダマシタコトハ、
初メ申上ダマシタ恩給ヲ成ルベク増嵩ヲ抑
制シナケレバイカヌト云フノトハ、ドチラカ
ト申セバ是ハ反對ノコトニナリマスルノデ
ゴザイマスルガ、此ノ點ヲドウ云フ風ニ調
和シテ行クカ、此處ノ所ガ非常ニムヅカシ
イ問題デヤナイカト考ヘルノデゴザイマス、
ソレデ今度モ其ノ點ニ付キマシテハ色々考
ヘタノデゴザイマスルガ、例ヘバ恩給嵩嵩
ヲ抑制スルト云フコトヲ申シマスルト云フ
面カラ考ヘマスルト此ノ恩給受給者ハ最近
ノ物價騰貴其ノ他ニ因リマシテ、非常ニ生
活ガ苦シイ、何トカモウ少シ増額シテ貰ヘ

○政府委員(平木弘君) 其ノ推算ハ大體致シテ居リマスルガ、豫メ申上ゲテ置キタインガ、一應ノ推算ヲ御持チデゴザイマシタラ、ツ一ツ……

法ガ考ヘ付カナイ、サウ云フ譯デアリマシテ、根本的ナ非常ニ大キナ負擔ノ輕減ヘ出来マセヌデシタガ、ソレデモ多少デモ國ノ負擔ヲ輕減シタイ、其ノ爲ニハ比較的儀牲ノ少イ方ノ方ニ犠牲ヲシテ戴イテ、サウシテ國ノ恩給ノ負擔ヲ幾分デモ減ラシタイ、斯ウ云フ考デヤリマシタノガ、多額所得者ノ停止、或ハ若干年停止ノ關係デゴザイマス、或ハ加算年ノ規定ヲ減ラシマシタノモ多少外ノ理由モアリマスルガ、財政上ノ理由ガ重ナ理由デゴザイマス、勿論斯ウ云フ風ニ減ラシマスト云フコトハ、減サレタ方ニ取リマスルト是ハドウシテモ或程度ノ犠牲デゴザイマスルケレドモ、外ノ方ト比較スレバ多少其ノ犠牲ガ比較的ニハ少イ、斯ウ云フ風ナ點デ致シタラドウダラウ、斯ウ云フ風ナノガ今度ノ改正ノ趣旨デゴザイマストデゴザイマスルカラ、續イテ承リタイトト思ヒマスルガ今度ノ改正ニ於キマシテモ、御話ノヤウニ若年控除トカ、多額所得控除トカ、或ハ加算年ノ低減ト言ヒマスカト云フヤウナコトガアリ、是ハ何レモ結果ニ於キマシテ、恩給金額ヲ減少スルト云フコトニナルモノト思ヒマス、此ノ改正ニ依リマシテ恩給金額ガ果シテドノ位減少サレル御見込デアリマスカ、是ハ全ク見込デアリマスルガ、一應ノ推算ヲ御持チデゴザイマシタ

イノデゴザイマシテ、例ヘバ植民地デアリ
マスルト云フト來年ドノ位減ルカト云フコ
トハ、結局來年ドノ位退職者ガアルカ、其
ノ退職者ノ中デ恩給ニナル人ガドノ位、恩
給ニナラナイ人ガドノ位、其ノ恩給ニナル
人ノ中デ一時金ヲ貴フ人ガドノ位、年金ヲ
貴フ人ガドノ位、此ノ割合ト云フモノガ實
ハ非常ニ分リニクイ問題デゴザイマスシ、
外ノ外國鎮戍ノ場合デモ、現地デ罷メル者
デ、只今ト同ジヤウナ推算ノ困難サガアル
ノデゴザイマス、ソレデゴザイマスルカラ
私ガ是カラ申上げマスルコトハ極メテ大難
把ナ數字デゴザイマスルカラ、其ノ點豫メ
御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、サウ云フ點
デ來年度ドノ位減ルカト云フコトハチヨツ
ト申上ゲ兼ネマスルカラ極メテ漠然タル話
デゴザイマスルガ、數年後、ト申シマスル
ト大體此ノ改正法ノ效果ガ相當現レタ年ノ
意味デゴザイマスルガ、數年後ニ於キマシ
テ百七八十萬圓カラニ一百萬圓位ノ減額、或
ハソレガズット先ニナリマスルト毎年減少
額ガ累加シテ參リマスルカラ此ノ數字モハッ
キリ申上ゲラレマセヌガ、三百萬圓、四百
萬圓ト云フ風ナ數字ニ上リハシナイダラウ
カ斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス。

マシタガ、ソレガ現行法デハ十七年ニナッテ
居ルト思ヒマス、是ハモット延長シテモ宜イ
ノデヤナイカ、實ハ其ノ數字上ノ根據ガア
ル譯デヤアリマセヌケレドモ、例ヘバ二十二
年位ニシテモ宜ノデヤナイカ、一般官吏
ハ凡ソ二十五歳デ就職シタトシテモ在職二
十年ニシテ四十五歳ニ達スルト云フ、マダ
若イ、働キ盛リト言ッテモ宜イヤウナ年配デ
アリマス、此ノ恩給年限ヲ延長スルト云フ
コトハ考ヘテ宜イコトデヤナイカト思フ、
是ハ獨リ恩給金額ヲ減少スルト云フ點カラ
見ルバカリデナシニ、恩給生活ニ入ルコト
ヲ遲クスル、ソレ迄勤メルト云フヤウナ意
味デ一般社會的ニ見マシテモ、大イニ意義
ノアルコトデヤナイカト思ヒマスガ、其ノ
コトニ付キマシテ當局ハドウ云ブ御考ヲ御
持チデゴザイマセウカ

ザイマス、サウ致シマスルト云フト大體官吏ノ在職年ガソレダケ延ビル、斯ウ云フコトニナルダラウ、延ビルト云フコトニナリマスルト云フコトハ官吏ノ方カラ申シマスレバ何ト申シマスルカ、一種ノ生活安定ト言ツチヤ少シ言葉ガ過ギマスルガ、官吏ノ方ハ多少ソレダケデモ安定スル譯デアリマス、處ガ一方カラ之ヲ考ヘテ見マスルト云フト日本ノ人口ガ毎年非常ニ増加シテ居リマスル關係上、數年前迄ハ若イ者ノ就職問題ト云フヤウナ問題モ相當議論ニナシテ居タノデゴザイマス、サウ云フ關係デアリマシテ、役人ノ在職年數ヲ延バスト云フコトハ、結局人口増加ノ非常ニ多イ我が國ノヤウナ國情ニ適スルデアラウカドウデアラウカト云フコトヲ實ハ今迄考ヘテ居ルノデゴザイマス、「イギリス」ノコトハ私ハ詳シク存ジマセスケレドモ、「イギリス」デハ何デモ六十歳ニナッテ初メテ恩給ヲ給スルト云迄ハ役人トシテ使フ、斯ウ云フ風ナコトニフ制度ヲ採ツテ居ルヤウデゴザイマス、之ヲ反面カラ申シマスレバ、大體ニ於テ六十歳迄ハ役人トシテ使フ、斯ウ云フ風ナコトニナッテ居ルヤウデゴザイマス、之ヲ日本ノ數字ト比較シテ申上ゲマスルト、日本ニ於キマシテハ最近大體文官ハ退職ノ平均ヲ取りマスルト四十八歳ヲヨットニナッテ居ルノデゴザイマス、陸軍、海軍ノ軍人ハ、是ハ勤務ノ性質ガ違ヒマスルト又多少事情ガ違ヒマシ若イ年齢ノ者ヲ必要トシマスルカラ陸軍ハ大體三十五六歳、海軍ハ三十二歳、教職員ニナリマスルト又多少事情ガ違ヒマシテ、罷メル時ニ四十七八歳、斯ウ云フコトニナッテ居リマシテ、「イギリス」アクリノ事情ト較ベマスト餘程ソコニ格段ノ相違ガアルヤウニ思フノデアリマス、「イギリス」

ガドウ云フ譯デサウシテ居ルカ、勿論詳シクハ私存ジマセヌケレドモ、是ハドウモ日本ノヤウナ人口ノ急激ニ増加スル國ト、「イギリスト」ノヤウニ大體人口ガ停滯シ、而モ職業ハ人間ノ割合ニ比シテ相當多イト云フ國ニ於テハ斯ウ云フ風ナ制度ノ差ガ生ズルト云フコトニナリハシナイダラウカト寶ハ考ヘテ居リマシテ、斯ウ云フ觀點カラ致シマシテ此ノ年限ヲ延長スルト云フコトハ相當斯ウ云フ點カラモ考慮ヲ加ヘナケレバナラヌノデヤナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、處ガ御承知ノ通り最近支那事變勃發以來其ノ事情ハ非常ニ違ツテ參ッタノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ色々考ヘ方モ變ヘナケレバナラヌト云フ點モアリハセヌカト實ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、マダモウ少シ狀況ヲ見ナイト、此ノ恩給年限ト云フ風ナ相當連續的ナ性質ヲ有スル制度ヲ改正スルト云フ風ナコトニハ、モウ少シ事情ヲ突キ詰メテ考ヘタ方ガ宜イデヤナイカト云フ風ニ實ハ考ヘテ居ル譯デアリマス

○三井清一郎君 只今村上サンノ御質疑ニ對シテ恩給局長ノ御答ヲ承ツテ居リマスト、専ラ財政上ノ見地カラ恩給法ヲ改正スルト云フヤウナ風ニ少シ傾キ過ギテ居ルヤウニ感ジタノデアリマス、無論一時恩給亡國論モアリ、恩給ノ增加ガ比較的多大デアルトニ、此ノ事變以來ノ大キナ豫算ニ比例スルト恩給額ナドハ一億五六千萬圓ニナリマスガ、今年アクリハ二億ニナリマスカ、サウ云フコトハ、御承知ノ通り國防上カラ考ヘテモ産業上カラ考ヘマシテモ、如何ニ此ノ問題デアリ、又勞働方面ニ於テハ是ガ爲ニギリス」ノヤウニ大體人口ガ停滯シ、而モ職業ハ人間ノ割合ニ比シテ相當多イト云フ國ニ於テハ斯ウ云フ風ナ制度ノ差ガ生ズルト云フコトニナリハシナイダラウカト寶ハ考ヘテ居リマシテ、斯ウ云フ觀點カラ致シマシテ此ノ年限ヲ延長スルト云フコトハ相當斯ウ云フ點カラモ考慮ヲ加ヘナケレバナラヌノデヤナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、此ノ點ニ付キマシテハ色々考ヘ方モ變ヘナケレバナラヌト云フ點モアリハセヌカト實ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、マダモウ少シ狀況ヲ見ナイト、此ノ恩給年限ト云フ風ナ相當連續的ナ性質ヲ有スル制度ヲ改正スルト云フ風ナコトニハ、モウ少シ事情ヲ突キ詰メテ考ヘタ方ガ宜イデヤナイカト云フ風ニ實ハ考ヘテ居ル譯デアリマス

○三井清一郎君 只今村上サンノ御質疑ニ對シテ恩給局長ノ御答ヲ承ツテ居リマスト、専ラ財政上ノ見地カラ恩給法ヲ改正スルト云フヤウナ風ニ少シ傾キ過ギテ居ルヤウニ感ジタノデアリマス、無論一時恩給亡國論モアリ、恩給ノ增加ガ比較的多大デアルトニ、此ノ事變以來ノ大キナ豫算ニ比例スルト恩給額ナドハ一億五六千萬圓ニナリマスガ、今年アクリハ二億ニナリマスカ、サウ云フコトハ、御承知ノ通り國防上カラ考ヘテモ産業上カラ考ヘマシテモ、如何ニ此ノ問題デアリ、又勞働方面ニ於テハ是ガ爲ニギリス」ノヤウニ大體人口ガ停滯シ、而モ職業ハ人間ノ割合ニ比シテ相當多イト云フ國ニ於テハ斯ウ云フ風ナ制度ノ差ガ生ズルト云フコトニナリハシナイダラウカト寶ハ考ヘテ居リマシテ、斯ウ云フ觀點カラ致シマシテ此ノ年限ヲ延長スルト云フコトハ相當斯ウ云フ點カラモ考慮ヲ加ヘナケレバナラヌノデヤナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、此ノ點ニ付キマシテハ色々考ヘ方モ變ヘナケレバナラヌト云フ點モアリハセヌカト實ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、マダモウ少シ狀況ヲ見ナイト、此ノ恩給年限ト云フ風ナ相當連續的ナ性質ヲ有スル制度ヲ改正スルト云フ風ナコトニハ、モウ少シ事情ヲ突キ詰メテ考ヘタ方ガ宜イデヤナイカト云フ風ニ實ハ考ヘテ居ル譯デアリマス

○政府委員(平木弘君) 其ノ點ハ實ハ先ツキモ申上ガマシタ通リニ恩給ノ問題ヲ取扱ヒマス者ト致シマシテハ國庫ノ負擔ヲ減ズルト云フ觀點ガ一ツ、ソレカラ新シイ時代ニ即應シテ新シイ事項ヲ加ヘルト云フコトガ一ツ、此ノ二ツノ事項ハドチラカト云ヘバ相反スルヤウナ結果ニナルノデゴザイマス、ソレデ之ヲドウ云フ風ニ調和スルカトアルヤウニ思フノデアリマス、「イギリス」

今生活難ニ苦シングデ居ル、之ヲ何トカ増額シタラドウダト云フ風ナ論モ色々アルノデアリマス、又實際ニ於テ生活ノ苦シイ點ハ察知出来ルノデアリマス、此ノ點モ十分考ヘタノデゴザイマスルガ、何ト申シマシテモ小額受給者トナリマスト云フト受給者假ニ殖ヤスト致シマシテモ、是ハ相當大キナ金額ニナルノデアリマス、實ハ其ノ中デ支那事變關係ノ戰死者ノ遺族或ハ傷痍軍人ノ増加恩給其ノ他ノ年金、之ニ付キマシテハ昭和十三年ニ相當大幅ノ増額ヲ致シタノデゴザイマス、尤モ見方ニ依リマスレバ昭和十三年カラ更ニ物價ガ騰貴シタカラ、尙之ニ増額ヲシナケレバナラヌト云フ論モ或ハアルト存ジマスルケレドモ、現在ノ事情ト致シマシテハサウ云フ風ナ大キナ引上ヲ致シテ居リマスカラ、之ニ手ヲ省ケル譯ニ行カヌ、斯ウ云フ風ニ相成ルデハナイカト考ヘルノデアリマス、サウ致シマスルト此ノ事變關係者ヲ除イタ一般ノ小額受給者ガ行カヌ、斯ウ云フ風ニ相成ルデハナイカト考ヘルノデアリマスガ、此ノ一般申シマシタ通り財政上ノ理由モ一ツデアリマスルガ、財政上ノ理由ダケナラバ是ハ場合ニ依ツテ負擔ヲ増シテモヤラナケレバナラヌ事項モアルノデアリマスガ、此ノ一般相當困難デヤナイカト云フ風ニ考ヘマシテ、一般俸給生活者ノ俸給停止トモ關聯致シマシテ、上ヲ引上ゲルト云フコトハ唯今ノ處其ノ點ヲ色々研究致シマシタ結果増額致サ

○三井清一郎君 能ク御説明デ分リマシタ
ガ、私ハ唯憂ヘルノハ現ニ今年ノ如キハ學
校ヲ出タ者ハ官吏ヲ希望シナイ、或ハ官吏
ニ似寄ッタヤウナ處ヘ入ルコトヲ希望シナ
イデ、寧ロ財界ニ入ルコトヲ希望シテ居ル、
實際優秀者ガ昔ノヤウニ官吏ニ入ツテ來ル
ト云フコトガ少クナツテ來タヤウナ感ジガ
スル、若シサウ云フヤウナコトデ國家ノ進
ラヌ時期ニ於テ此ノ優秀ナ人材ヲ得ラレナ
イト云フヤウナコトハ何ニ原因スルカ、一
ツ大ニ検討スル必要ガアルト思フ、官吏ガ
昨日モ一萬人以上増加シテ居ルト云フ、今
日ノ豫算ガモウ既ニ何十倍デハアリマセヌ
ガ、三四倍ニ行ヅテ居ルデアリマセウガ、斯
ウ云フヤウニナツテ來テ、此ノ時局ニ複雜多
端ナ經濟方面ノ處理其ノ他ヲヤルノニ一萬
人ガ一萬五千人ニ殖エテモ、國民ガ安心スル
ヤウニ仕向ケテ戴カナケレバナラスト思フ、
其處ヲ縮メテ置イテ國民ニ非常ナ不安ヲ感
ゼシムテ、國家ノ發展ヲ害スルヤウナコトハ
ガアツテハ相成ラヌ、是ハ消極ト積極ノ論
ノ違ヒデアリマセウガ、私ハ積極ニ此ノ際
國家ノ仕事ヲ進メサウシテ國民ヲ安堵セ
シメ、國民ガ國家ニ協力シテ行クヤウニシ
テ行カナケレバナラヌ、其ノ爲ニ相當ノ人
材ヲ要シ、人モ要スルト思フ、サウ云フコ
トハ遠慮ナクヤツテ此ノ重大時局ヲ切抜ケ
ナケレバナラヌト、思ツテ居ル一人デアリマ
ス、故ニ恩給ヲ増加セヨト云フコトハ、サ
ウ云フコトハ申上ダセヌガ、此ノ時局ニ
非常ニ人心ヲ刺戟スル恩給年限ヲ延バスノ
ダトカ、恩給亡國論ヲ唱ヘルナント云フ

コトハ私ハ誠ニ遺憾ニ堪ヘナイ、ドウゾ成ルベク國家ノ爲ニ日夜奮闘シテ居ル官吏ノ精神ヲ刺戟スルト云フヤウナコトハ私ハ面白クナイト思フノデス、官吏獨善ダ、官吏ハ責任ヲ負ウテモノヲ遂行スルト云フ責任テ誰ガ此ノ行政ヲウマク運用シテ、國民ヲ協力セシメテ行クト云フト矢張リ官吏ニアリマセウガ、サウ云フコトデ或方面ノ官僚ヲ餘リ刺戟シテハナラヌト思フ、斷乎トシテ誰ガ此ノ行政ヲウマク運用シテ、國民ヲ給ヲ増加シタイトハ私ハ申サヌ、今日出テ居ル適切ナ此ノ改正案ニ付テハ我々ハ一言ノ何ハナイノデアリマスルガ、唯サウ云フ議論ヲ聞クト云フコトガ甚ダ面白クナイ、又斯ウ云フコトガ漏レルト云フコトハ面白クナイト思フ、現ニ戰地カラ歸テ來タ者ノ一部ニハ恩給年限ニ懸ルコトヲ考慮セラレテ歸還セシメルノダ、サウ云フ「デマ」ヲ言フ、サウ云フ馬鹿ナコトハアリ得ベカラザルコトデアル、我々ハ軍事上ノコトモ多少分ッテ居リマスガ、作戦上ノ關係カラ歸還ラシ或ハ交代ヲスルト云フヤウナコトハ起リマセウケレドモ、其ノ者ガ一々モウ何箇月居レバ恩給ガ懸ルカラ返スト云フ、サウ云フ馬鹿ナコトヲヤル譯ハナイノデアリマスガ、サウ云フ「デマ」ガ飛ブ、偶然ニモサウ云フ者ガ一二アル爲ニ「デマ」ガ飛ブ際デアリマス、斯ウ云フコトヲ申上ゲマシテドウゾ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(平木弘彦) 恩給金庫ニ於キマシテ、貸付致シマスル人員ハ大體六萬人位、貨付現在額ハ大體六千萬圓、斯ウ云フ風ニ御承知願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ一般高利貸ノ手ニドノ位ノ恩給ガ擔保ニ入ツテ、ドノ位ノ融資ヲ受ケテ居ルカト云フ問題デゴザイマスルガ、是ハ調査ガ非常ニムヅカシイノデアリマシテ、正確ナコトハ勿論分リニクイノデゴザイマスルガ、今迄大體推計サレテ居タツ數字ヲ申上ゲテ見マスルト、或ハ一億圓アルグラウ、或ハ一億五千萬圓或ハ二億圓ト云フ風ナ數字ヲ實ハ聞イテ居リマシテ、ドノ數字ガ果シテ適當ナ數字カト云フコトハ、此ノ高利貸ノ金融ノ關係上調査ガ非常ニ困難ト思フノデアリマスカラ、ハッキリシタコトハ實ハ申上ガ兼ネルノデアリマス

チニ因ルモノダカト云フコトヲ承知シタイト思ツテ伺フノデアリマス、ソコノ點ノ御見込ヲ承リタイ

○政府委員(平木弘君) 只今ノ高利貸ノ手

ニアリマス恩給擔保ノ金融ノ問題デアリマスガ、是ハ申上ゲル迄モナク恩給金庫設立ノ趣旨ガ取リモ直サズ高利貸ノ手ヨリ恩給受給者ヲ救フト云フコトガ非常ニ大キナ目的ノ一つデゴザイマスカラ、恩給金庫ト致シマシテモ創設以來特ニ此ノ事務ニ力ヲ入レテ參ツテ居ルノデアリマス、ソレデ先程申上ガマシタ件數ノ中ノ半數以上、六割位ハ大體高利貸ノ借替ニハ限リマセヌガ、古イ債權者ノモノヲ借替ヘタ所ノ件數ニナッテ居ルノデゴザイマス、併シナガラ尙多數マダ高利貸ノ手ニ恩給證書ガ擔保ニ入ッタ金融ガ残ツテ居ルノデヤナイカト想像サレル節ハ色々アルノデゴザイマス、此ノ點ニ付キマシテハ恩給金庫ト致シマシテモ極力力ヲ注イデ居ル所デアリマスガ、進行シナイ事由ハ色々アルグラウト思フノデアリマスル、例ヘバ高利貸ノ方カラ致シマスト、相當は恩給擔保ノ金融ト云フコトガ有利ナ譯デゴザイマス、恩給金庫ノ方デ借替ヲ幾ラドウモ請求致シマシテモ取合ヒマセヌデ置クト云フコトハ、結局高利貸ノ方ニ有給者ノ方、借りタ方ノ側カラ致シマスレバ、ト云フコトガ一ツ大キナ原因デヤナサイカト考ヘテ居ルノデゴザイマス、ソレカラ受給者ノ人員ガ殖エル、或ハ意外ノ事實ガ發生シタト云フヤウナコトモアルカモ知レト云フコトガ一大キナ原因デヤナサイカト考ヘテ居ルノデゴザイマス、マダ何分一般ニ普及シテ居ラナイデ知ラナイ者是ハ恩給金庫ニ於キマシテモ極力此ノ周知宣傳方ヲヤツテ居ルノデゴザイマスガ、マダ少考ヘラレルノデアリマス、若シサウ云フ

コトガアルト致シマスレバ、今後極力其ノ

方面ハ周知宣傳セシメルヤウナ方法ヲ採リ

タイト思フノデアリマス、御承知ノ通リニ

恩給金庫以外ノ恩給證書ヲ擔保ノ金融ハ先

年衆議院デ恩給金庫法ガ出來マスル際ニ多少修正ニナリマシテ、來年ノ六月デゴザイマスルカ以後ニ於キマシテハアノ附則ノ適用ニ依リマシテ、サウ云フ擔保ニ入ッテ居リマス恩給ヲ停止スルト云フ規定ガ効ク譯デゴザイマスカラ來年ノ六月迄ニハ大體解決出来ルト思ヒマスガ、更ニ其ノ前ニモット早くスウ云フ問題ヲ解決シタトイ思ヒマシテ、金庫ノ方ト致シマシテモ、又我タト致シマシテモ協力シテ此ノ問題ヲ研究シテ居ル次第デゴザイマス

○柴田善三郎君 昭和八年恩給法改正ノ際

ニ十五年ノ勤続年限ガ七十一年ニ延ビタ、ア

ノ時ニハ大體年數ヲ二年延バスト云フコトニ因シテ一年ノ恩給ノ増加ヲ凡ソ二千萬圓

位阻止シ得ル、ソレダカラ之ヲ十年ニ積算

シテ見ルト約一億圓ノ金が減ル、詰リ增加

スペキモノガ増加セズニ濟ム、斯ウ云フ風

ニ承知致シテ居リマシタガ、實績カラ見マ

スルトドンナ風デアリマシタデセウカ、無

論此ノ計算モナカヽ困難デアリマセウ、

受給者ノ人員ガ殖エル、或ハ意外ノ事實ガ

發生シタト云フヤウナコトモアルカモ知レ

マセヌガ、年限ノ延長サレタコトカラドレ

ダケ實績ニ於テ八年以來增加ヲ阻止シ得タ

カト云フコトニ付テノ數字的ノ調ガアリマ

シタラ伺ビタイト思ヒマス

○政府委員(平木弘君) 只今數字ヲチヨツ

大サレルヤウデアリマスルガ、之ヲ金額ニ

見積ルト數年後ニ於テハ停止額ガ百七十萬

一日カラ施行ニナリマスルカラ四月一日以降入營シタ者ハ、三年後ニハ其ノ該當者ガ

マスルカ以後ニ於キマシテハアノ附則ノ適

用ニ依リマシテ、サウ云フ擔保ニ入ッテ居リ

マス恩給ヲ停止スルト云フ規定ガ効ク譯デ

ゴザイマスカラ來年ノ六月迄ニハ大體解決

出来ルト思ヒマスガ、更ニ其ノ前ニモット早

クスウ云フ問題ヲ解決シタトイ思ヒマシテ、

金庫ノ方ト致シマシテモ、又我タト致シマ

シテモ協力シテ此ノ問題ヲ研究シテ居ル次

第デゴザイマス

○政府委員(平木弘君) 高額所得ノ場合ト

若年停止ノ場合ハ實ハ取扱異ニシテ居ル

ノデアリマシテ、是ハ恩給法ノ今度改正致

シマシタ附則ノ第三條ニ依リマシテ、若年

停止ノ場合ニハ此ノ停止率ヲ三十歳未満ヲ

ニ止ムテ一年ノ恩給ノ増加ヲ凡ソ二千萬圓

位阻止シ得ル、ソレダカラ之ヲ十年ニ積算

シテ見ルト約一億圓ノ金が減ル、詰リ增加

スペキモノガ増加セズニ濟ム、斯ウ云フ風

ニ承知致シテ居リマシタガ、實績カラ見マ

スルトドンナ風デアリマシタデセウカ、無

論此ノ計算モナカヽ困難デアリマセウ、

受給者ノ人員ガ殖エル、或ハ意外ノ事實ガ

發生シタト云フヤウナコトモアルカモ知レ

マセヌガ、年限ノ延長サレタコトカラドレ

ダケ實績ニ於テ八年以來增加ヲ阻止シ得タ

カト云フコトニ付テノ數字的ノ調ガアリマ

シタラ伺ビタイト思ヒマス

○政府委員(平木弘君) 只今數字ヲチヨツ

御報告致シマス

恩給ガ附クノデゴザイマシテ、今度ノ四月

一日カラ施行ニナリマスルカラ四月一日以

出テ來ル譯デゴザイマス、サウ致シテ計算

致シマスト此ノ計算ハ實ハ非常ニムヅカシ

イノデゴザイマシテ、軍隊ノ中デ御承知ノ

下士官ハドノ位恩給ニナルカ、或ハ恩給ニ

サウ致シマスト兵ガドノ位恩給ニ付クヤウ

ニナルノカ、或ハドノ位恩給ニラナイカ、

マスケレドモ一時恩給ハ出シテ居ラナイ、

通リニ兵ニハ一時恩給ハ出シテ居リマセ

ヌ、恩給年限ニナリマスト年金恩給ハ出シ

シマシテ此ノ計算ハ實ハ立チニクイノデアリマス、

ソレカラ戰爭ニ行ツテ加算ノ付ク人間ハド

ノ位ノ割合カト云フコトモ非常ニ説明ガ付

キニクイノデアリマシテ、推計ガ非常ニ困

難デアリマスケレドモ、唯大難把ニ推計ヲ

申シマスナラバ、先ツ大體三年後ニ始メテ

スウ云フ問題ガ起ルノデアリマスカラ、三

年經チ、四年經チ、五年經チシマシテ、數

年後ニハ十萬、二十萬、三十萬、四十萬ト

カ云フ風ニ行キハシナイグラウカト、是ハ

ト若年停止ノ方ニ入ラヌコトニナリマス

カラ、限度ハソコニアル譯デアリマス、ソ

レカラ多額所得ノ方デアリマスガ、是ハ現

在恩給外所得五千圓以上ノ人ハ稅務署ノ方カラ

テ、恩給ガ千圓以上ノ人ヲ私ノ方カラ稅務署ニ通知スルノデアリマス、サウシテ恩給

外所得ガ五千圓以上ノ人ハ稅務署ノ方カラ

コチラニ通知ガ參ルノデアリマス、ソレデ

アリマスカラ四千圓ニ下ダタ場合ニドウ

シテ居レバ四年勤務シテ居ルコトニナルノ

尤モ軍人ハ戰爭ニ行ツテ居リマスルカラ、一年勤務

ニ付三年ヲ加算致シマスルカラ、ソレデ

アリマスカラ四千圓ニ下ダタ場合ニドウ

ナルカト云フコトハ全ク資料ガナイ譯デアリマス、ソレカラ率ガ殖エルノガドノ位植エルカト云フコトモ實ハ計算ガ非常ニムヅカシイ譯デアリマス、併シ唯大體ヲ申上ゲマスト、先ヅ多額所得ノ方デハ來年カラ直グ來ル問題デアリマスガ、三十萬圓位ヂヤナイカ、斯ウ云フ風ニ今度ノ改正法ニ依リマシテ減ル方ノ増加ガ三十萬圓位ヂヤナイカト考ヘテ居リマス

○柴田善三郎君

見込ノ數字ハ只今伺ッテモハツキリセヌノデアリマスカラ、現行法ニ依リテ、若年停止ノ規定ニ依リテ停止サレテ居ル人員竝ニ全額、ソレカラ多額所得ノ規定ニ依リテ停止ヲ受ケテ居ル人員竝ニ金額、是ハハッキリシテ居ルト思ヒマスガ、之ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(平木弘君)

大體ノコトヲ申上ゲマシテ、後デ資料デ申上ゲマス、大體申上ゲマスト多額所得ノ方ノ停止該當人員ハ千五六百萬人ダト私ハ記憶致シテ居リマス、ソレカラ金額ノ方ハ大體現在六十萬圓ト私ハ記憶シテ居リマス、若年停止ノ方ハ實ハ私ノ方デハ能ク分リマセヌノデ、郵便局ノ方デ此ノ事務ヲ取扱シテ居ル部分モアリマスカラ、ソレガナイト分リマセヌガ此ノ頃最近ノ裁定致シテ居リマス若年停止該當者ハ一年千四百人ダト私ハ記憶シテ居リマス、尙後デ書類デ申上ゲマス、金額ガドウモハッキリ致シマセヌカラ……

○柴田善三郎君

此ノ若年停止ニ付キマシテハ色々々意見モアリマセウガ、兎ニ角現行法ニ於テ既ニ三十五歳ヲ標準トシテ規定ガ適用サレテ居リマスカラ、此ノ意見ハ別ト致シマシテ、若年デアッテ働キ盛リノ者ガ徒食シナイガ宜イト云フヤウチ趣旨カラ、

此ノ規定ハ出來テ居ルコトト存ジマスルケレドモ、併シ多數ノ者ノ中ニハ、或ハ病氣ノ爲ニ自分ノ本意デハナイガ退職シタ、サエラレタ、デアルカラ年齢ハ若イケレドモ、世ノ中ニ出テ官吏以外ノ業務ニ就イテ、勞務ニ服スルコトハ出來ナイト云フヤウナ人モ相當アルノヂヤ、イカト思フノデアリマス、斯ウ云フ人ニ對シテ現行法ニ於テハ一律ニ六分ノ一ノ停止ト云フ規定ガ適用サレテ、事情ニ依リテ之ヲ全額ヲ支給シテヤルトカ云フヤウナ途ハ拓カレテ居ラヌヤウニ思ヒマス、是ハドウモ立法當時ノ非常ナ遺漏デハナカッタクト私ハ考ヘマスルガ、殊ニ今回ノ如ク此ノ規定ノ範圍ガ擴大サレルト云フ場合ニ於テハ、是非共御考ニナラナケレバナラヌ點デハナイカト云フ風ニ思フノデアリマス、勿論案ヲ拜見致シマスト增加恩給、傷痍ニ因ル恩給、此ノ規定ノ適用ヲ受ケマスルモノハ是ハ停止ガナイナラナケレバナラヌ點デハナイカト云フ風ニ思フノデアリマスガ、其ノ他ノ者ニ付テハドンナ事情ガアツテモ總テ停止ヲ受ケル、斯ウ云フコトニナツテ居ルヤウニ拜見致シマス、ヤウデアリマスガ、若シサウナレバ是ハ甚ダ不適當ナ規定ダ、是非改メナケレバナラヌモノダト思ヒマス、實際若年停止ノ規定ヲ設ケタ趣旨ト云フモノモ、唯若イカラ何デモカンデモ引イテシマフト云フノガ本旨デハナイ、是デハ恩給ヲ折角給與下サルト云フ、最モ根本ノ趣旨ニ反スルト云フコトニナル、ダカラ除外ノ途ガナインラバ、是非此ノ擴大ノ際ニ併セテ御改正ニナルノガ適當ヂヤナイカ、斯ウ云フ疑フ持ツノデアリマス、之ニ付テノ御所見ヲ承リタイ

○政府委員(平木弘君)

只今若年停止ノ該當者ノ病氣ニ因ル除外規定ヲ設ケタラ宜

デハナイカト云フ御意見デゴザイマシテ、

風ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス、或ハ斯ウ

申シマスレバ現在增加恩給ニ付テハ肺病其

ノ他ニ付テ醫者ノ診斷ニ依リテ恩給法ヲ動

タ通リニ若年停止ヲ致シマスルモノハ、若

マス際ニ十分ニ色々ナ觀點カラ之ヲ研究シ

テ見タノデゴザイマス、今御述ニナリマシ

テ活動ガ出来ナ、或ハ仕事が出来ナイト

云フ者ニ付テハ或程度考ヘタラ宜イデハナ

イカト云フ御意見ハ、誠ニ御尤モダト考ヘマスルデゴザイマス、併シナガラ御承知ノ

通リニ恩給制度ハ恩給局ダケデ全國ニ畫

シテ調査シマシテ、色々恩給ノ給與ヲ定メ

ルト云フコトガ一番適當デハアリマスルケ

レドモ、現在ノ制度ト致シマシテハ、ソレ

モ致シ兼ネル狀況ニナツテ居ルノデゴザイ

マス、若シサウ云フ個人々々ノ事情ヲ斟酌

シテヤルト云フコトニ致シマスレバ是ハ相

レドモ、現在ノ制度ト致シマシテハ、ソレ

云フコトガ相當困難デハナイカ、斯ウ云リマス、ソレカラ率ガ殖エルノガドノ位植エルカト云フコトモ實ハ計算ガ非常ニムヅカシイ譯デアリマス、併シ唯大體ヲ申上ゲマスト、先づ多額所得ノ方デハ來年カラ直グ來ル問題デアリマスガ、三十萬圓位ヂヤナイカ、斯ウ云フ風ニ今度ノ改正法ニ依リマシテ減ル方ノ増加ガ三十萬圓位ヂヤナイト考ヘテ居リマス

ナルカト云フコトハ全ク資料ガナイ譯デアリマス、ソレカラ率ガ殖エルノガドノ位植エルカト云フコトモ實ハ計算ガ非常ニムヅカシイ譯デアリマス、併シ多數ノ者ノ中ニハ、或ハ病氣ノ爲ニ自分ノ本意デハナイガ退職シタ、サエラレタ、デアルカラ年齢ハ若イケレドモ、世ノ中ニ出テ官吏以外ノ業務ニ就イテ、勞務ニ服スルコトハ出來ナイト云フヤウナ人モ相當アルノヂヤ、イカト思フノデアリマス、斯ウ云フ人ニ對シテ現行法ニ於テハ一律ニ六分ノ一ノ停止ト云フ規定ガ適用サレテ、事情ニ依リテ之ヲ全額ヲ支給シテヤルトカ云フヤウナ途ハ拓カレテ居ラヌヤウニ思ヒマス、是ハドウモ立法當時ノ非常ナ遺漏デハナカッタクト私ハ考ヘマスルガ、殊ニ今回ノ如ク此ノ規定ノ範圍ガ擴大サレルト云フ場合ニ於テハ、是非共御考ニナラナケレバナラヌ點デハナイカト云フ風ニ思フノデアリマス、勿論案ヲ拜見致シマスト增加恩給、傷痍ニ因ル恩給、此ノ規定ノ適用ヲ受ケマスルモノハ是ハ停止ガナイナラナケレバナラヌ點デハナイカト云フ風ニ思フノデアリマスガ、其ノ他ノ者ニ付テハドンナ事情ガアツテモ總テ停止ヲ受ケル、斯ウ云フコトニナツテ居ルヤウニ拜見致シマス、ヤウデアリマスガ、若シサウナレバ是ハ甚ダ不適當ナ規定ダ、是非改メナケレバナラヌモノダト思ヒマス、實際若年停止ノ規定ヲ設ケタ趣旨ト云フモノモ、唯若イカラ何デモカンデモ引イテシマフト云フノガ本旨デハナイ、是デハ恩給ヲ折角給與下サルト云フ、最モ根本ノ趣旨ニ反スルト云フコトニナル、ダカラ除外ノ途ガナインラバ、是非此ノ擴大ノ際ニ併セテ御改正ニナルノガ適當ヂヤナイカ、斯ウ云フ疑フ持ツノデアリマス、之ニ付テノ御所見ヲ承リタイ

全國的ニ之ヲ統一シテ不公平ナカラシムルト云フコトガ相當困難デハナイカ、サウ云フ點カラ考ヘマジテ實ハ其ノ點ヲ規定スルト云フコトガドウシテモ出來ナイ、斯ウ云フ風ナコトニナツタノデアリマス、ソレデアリマスルカラ或ハ中ニハサウ云フ方ガアルカモ存ジマセヌガ、恩給法ノ建前ト致シマシテ、大體畫一的ニ書面ニ依ッテ審査ヲスルト云フガ全般的ノ建前デゴザイマスルカラ、從來通リノ制度ヲ今度モ踏襲シタ譯デゴザイマス

○柴田善三郎君 只今ノ御説明デ審査ニ非常ニ骨ノ折レルト云フコトダケハ分リマシタケレドモ、併シ骨ガ折レルカラ之ラヤラナイト云フダケデハ理由ガ不十分デヤナイカト云フ風ニ考ヘマス、ト云フノハ大體スウ云フ規定ガナケレバ停止モ受ケナイ、満足ナ恩給ヲ受ケルノガ本來デアル、此ノ規定ハ唯停止ノ規定デアル、受ケベキ權利ノアルモノヲ停止スル是ハ規定ナンデス、停止スルト云フヤウナ効キヲ致シマス場合ニハ矢張リ當然理窟トシテハ病氣ノ暮ニ迄減スト云フコトガ適當デナイト云フコトガアリマスルナラバ、相當審査ニ困難ガアッテモノ途ヲ開イテヤルト云フ方ガ處置トシテ適當デナイト思フ、ソレデ私ノ考ヘマスノハ、一應ノ停止ハスル一應ノ停止ハスルガ、又申請ニ依ッテサウ云フ事情ガアルナラバ、ヨク／＼已ムヲ得ヌト認メタモノニ付テソレヲ支給シテヤル、サウスルニハ幾ラ時間ハ掛ルカモ知レナイ、ダカラ或期間ハ停止ノ恩給ヲ受ケル、ソレガ元へ戻ルニハ半年掛ル、一年掛ルト云フコトデアルカモ知レヌ、併シ例ヘバ肺病デ寢就イテシマツテ居ル、逆モ助カル見込ハナイト云フ

○柴田善三郎君 マア一應御尋ハ此ノ點ハ止メテ置キマスガ、ドウモ私ハ公平ト云フコトモは必要デアリマセウ、併シ將來何カ恩給法ノ改正ノ場合ニ於テハ、モウ一遍此ノ點ハヨク考慮サレテ何トカサウ云フモニ付テ救ツテヤル途ハナイト云フコトヲ御賢考ヲ願ヒタイト云フ希望ヲ申上ゲテ

ヤウナ者ナラバ、ソレガ半年掛ラウガ、一年掛ラウガ二年掛ラウガ、實際ソレニ浴ス

額所得税ノ規定ガ擴大サレタト云フカ、下

御話ノアツタヤウニ所謂多額所得者デアリマ

フ點カラ考ヘマジテ實ハ其ノ點ヲ規定スル

ルコトガ出來レバ非常ニ仕合セナコトナノ

デアリマスガ、唯ドウモ恩給局ガ御調ニナ

ス、ドンナモノデアリマセウカ

○政府委員(平木弘君) 私申上ゲマシタノガ言葉ガ不十分ノ爲ニ徹底致シ兼ネタ點ガアルカト思ヒマスルガ、私申上ゲマシタノハ手數ガ掛ルカラ困ルト云フ意味デハ

ナク、手數ヲ掛ケタ結果ガ果シテ公平ニ行

クカドウカ、其ノ點ヲ非常ニ懸念スルノデ

ゴザイマス、殊ニサウ云フ場合ニハ出來ル

ダケ手數デ濟ミマスコトデアリマシタナラ

バ、色々手數ヲ掛ケテ、色々調査シテヤ

其ノ關係者ノ一人デアリマス私ガドウモ今

リマス、併シ唯御承知ヲ願ヒマスガ、多額

給停止ノ規定ヲ擴大サレタト云フノハ適當

給停止ノ規定ヲ擴大サレタト云フノハ適當

デナイト考ヘテ居リマス、不適當デナイ迄

モ時期デナイト云フ風ニ大體私ハ考ヘテ居

マスルガ、私ハ大體論トシテハ今度ノ恩

ヤト云フコトハマダ疑ガアルノデゴザイマ

スルガ、私ハ大體論トシテハ今度ノ恩

ノ方ヘ擴大サレタノデアリマス、是ハ最前

デアリマスガ、唯ドウモ恩給局ガ御調ニナ

ス、ドンナモノデアリマセウカ

三井サンカラ御尋モアツダカノヤウデアリ

マスルガ、私ハ大體論トシテハ今度ノ恩

ヤト云フコトハマダ疑ガアルノデゴザイマ

ス、ドンナモノデアリマセウカ

ガアルカト思ヒマスルガ、私申上ゲマシタ

ノハ手數ガ掛ルカラ困ルト云フ意味デハ

ナク、手數ヲ掛ケタ結果ガ果シテ公平ニ行

クカドウカ、其ノ點ヲ非常ニ懸念スルノデ

ゴザイマス、殊ニサウ云フ場合ニハ出來ル

ダケ手數デ濟ミマスコトデアリマシタナラ

バ、色々手數ヲ掛ケテ、色々調査シテヤ

其ノ關係者ノ一人デアリマス私ガドウモ今

リマス、併シ唯御承知ヲ願ヒマスガ、多額

給停止ノ規定ヲ擴大サレタト云フノハ適當

給停止ノ規定ヲ擴大サレタト云フノハ適當

デナイト考ヘテ居リマス、不適當デナイ迄

モ時期デナイト云フ風ニ大體私ハ考ヘテ居

マスルガ、私ハ大體論トシテハ今度ノ恩

ヤト云フコトハマダ疑ガアルノデゴザイマ

ス、ドンナモノデアリマセウカ

三井サンカラ御尋モアツダカノヤウデアリ

マスルガ、私ハ大體論トシテハ今度ノ恩

ヤト云フコトハマダ疑ガアルノデゴザイマ

ス、ドンナモノデアリマセウカ

ガアルカト思ヒマスルガ、私申上ゲマシタ

ノハ手數ガ掛ルカラ困ルト云フ意味デハ

ナク、手數ヲ掛ケタ結果ガ果シテ公平ニ行

クカドウカ、其ノ點ヲ非常ニ懸念スルノデ

ゴザイマス、殊ニサウ云フ場合ニハ出來ル

ダケ手數デ濟ミマスコトデアリマシタナラ

バ、色々手數ヲ掛ケテ、色々調査シテヤ

其ノ關係者ノ一人デアリマス私ガドウモ今

リマス、併シ唯御承知ヲ願ヒマスガ、多額

給停止ノ規定ヲ擴大サレタト云フノハ適當

給停止ノ規定ヲ擴大サレタト云フノハ適當

デナイト考ヘテ居リマス、不適當デナイ迄

モ時期デナイト云フ風ニ大體私ハ考ヘテ居

マスルガ、私ハ大體論トシテハ今度ノ恩

ヤト云フコトハマダ疑ガアルノデゴザイマ

ス、ドンナモノデアリマセウカ

三井サンカラ御尋モアツダカノヤウデアリ

マスルガ、私ハ大體論トシテハ今度ノ恩

ヤト云フコトハマダ疑ガアルノデゴザイマ

ス、ドンナモノデアリマセウカ

ガアルカト思ヒマスルガ、私申上ゲマシタ

ノハ手數ガ掛ルカラ困ルト云フ意味デハ

ナク、手數ヲ掛ケタ結果ガ果シテ公平ニ行

クカドウカ、其ノ點ヲ非常ニ懸念スルノデ

ゴザイマス、殊ニサウ云フ場合ニハ出來ル

ダケ手數デ濟ミマスコトデアリマシタナラ

バ、色々手數ヲ掛ケテ、色々調査シテヤ

其ノ關係者ノ一人デアリマス私ガドウモ今

リマス、併シ唯御承知ヲ願ヒマスガ、多額

給停止ノ規定ヲ擴大サレタト云フノハ適當

給停止ノ規定ヲ擴大サレタト云フノハ適當

デナイト考ヘテ居リマス、不適當デナイ迄

モ時期デナイト云フ風ニ大體私ハ考ヘテ居

マスルガ、私ハ大體論トシテハ今度ノ恩

ヤト云フコトハマダ疑ガアルノデゴザイマ

ス、ドンナモノデアリマセウカ

三井サンカラ御尋モアツダカノヤウデアリ

マスルガ、私ハ大體論トシテハ今度ノ恩

ヤト云フコトハマダ疑ガアルノデゴザイマ

ス、ドンナモノデアリマセウカ

ガアルカト思ヒマスルガ、私申上ゲマシタ

ノハ手數ガ掛ルカラ困ルト云フ意味デハ

ナク、手數ヲ掛ケタ結果ガ果シテ公平ニ行

クカドウカ、其ノ點ヲ非常ニ懸念スルノデ

ゴザイマス、殊ニサウ云フ場合ニハ出來ル

ダケ手數デ濟ミマスコトデアリマシタナラ

バ、色々手數ヲ掛ケテ、色々調査シテヤ

其ノ關係者ノ一人デアリマス私ガドウモ今

リマス、併シ唯御承知ヲ願ヒマスガ、多額

給停止ノ規定ヲ擴大サレタト云フノハ適當

給停止ノ規定ヲ擴大サレタト云フノハ適當

デナイト考ヘテ居リマス、不適當デナイ迄

モ時期デナイト云フ風ニ大體私ハ考ヘテ居

マスルガ、私ハ大體論トシテハ今度ノ恩

ヤト云フコトハマダ疑ガアルノデゴザイマ

ス、ドンナモノデアリマセウカ

三井サンカラ御尋モアツダカノヤウデアリ

マスルガ、私ハ大體論トシテハ今度ノ恩

ヤト云フコトハマダ疑ガアルノデゴザイマ

ス、ドンナモノデアリマセウカ

ガアルカト思ヒマスルガ、私申上ゲマシタ

ノハ手數ガ掛ルカラ困ルト云フ意味デハ

ナク、手數ヲ掛ケタ結果ガ果シテ公平ニ行

クカドウカ、其ノ點ヲ非常ニ懸念スルノデ

ゴザイマス、殊ニサウ云フ場合ニハ出來ル

ダケ手數デ濟ミマスコトデアリマシタナラ

バ、色々手數ヲ掛ケテ、色々調査シテヤ

其ノ關係者ノ一人デアリマス私ガドウモ今

リマス、併シ唯御承知ヲ願ヒマスガ、多額

給停止ノ規定ヲ擴大サレタト云フノハ適當

給停止ノ規定ヲ擴大サレタト云フノハ適當

デナイト考ヘテ居リマス、不適當デナイ迄

モ時期デナイト云フ風ニ大體私ハ考ヘテ居

マスルガ、私ハ大體論トシテハ今度ノ恩

ヤト云フコトハマダ疑ガアルノデゴザイマ

ス、ドンナモノデアリマセウカ

三井サンカラ御尋モアツダカノヤウデアリ

マスルガ、私ハ大體論トシテハ今度ノ恩

ヤト云フコトハマダ疑ガアルノデゴザイマ

ス、ドンナモノデアリマセウカ

ガアルカト思ヒマスルガ、私申上ゲマシタ

ノハ手數ガ掛ルカラ困ルト云フ意味デハ

ナク、手數ヲ掛ケタ結果ガ果シテ公平ニ行

クカドウカ、其ノ點ヲ非常ニ懸念スルノデ

ゴザイマス、殊ニサウ云フ場合ニハ出來ル

ダケ手數デ濟ミマスコトデアリマシタナラ

バ、色々手數ヲ掛ケテ、色々調査シテヤ

其ノ關係者ノ一人デアリマス私ガドウモ今

リマス、併シ唯御承知ヲ願ヒマスガ、多額

給停止ノ規定ヲ擴大サレタト云フノハ適當

給停止ノ規定ヲ擴大サレタト云フノハ適當

デナイト考ヘテ居リマス、不適當デナイ迄

モ時期デナイト云フ風ニ大體私ハ考ヘテ居

マスルガ、私ハ大體論トシテハ今度ノ恩

ヤト云フコトハマダ疑ガアルノデゴザイマ

ス、ドンナモノデアリマセウカ

三井サンカラ御尋モアツダカノヤウデアリ

マスルガ、私ハ大體論トシテハ今度ノ恩

ヤト云フコトハマダ疑ガアルノデゴザイマ

ス、ドンナモノデアリマセウカ

ガアルカト思ヒマスルガ、私申上ゲマシタ

ノハ手數ガ掛ルカラ困ルト云フ意味デハ

ナク、手數ヲ掛ケタ結果ガ果シテ公平ニ行

クカドウカ、其ノ點ヲ非常ニ懸念スルノデ

ゴザイマス、殊ニサウ云フ場合ニハ出來ル

ダケ手數デ濟ミマスコトデアリマシタナラ

バ、色々手數ヲ掛ケテ、色々調査シテヤ

其ノ關係者ノ一人デアリマス私ガドウモ今

リマス、併シ唯御承知ヲ願ヒマスガ、多額

給停止ノ規定ヲ擴大サレタト云フノハ適當

給停止ノ規定ヲ擴大サレタト云フノハ適當

デナイト考ヘテ居リマス、不適當デナイ迄

モ時期デナイト云フ風ニ大體私ハ考ヘテ居

マスルガ、私ハ大體論トシテハ今度ノ恩

ヤト云フコトハマダ疑ガアルノデゴザイマ

ス、ドンナモノデアリマセウカ

三井サンカラ御尋モアツダカノヤウデアリ

マスルガ、私ハ大體論トシテハ今度ノ恩

ヤト云フコトハマダ疑ガアルノデゴザイマ

ス、ドンナモノデアリマセウカ

ガアルカト思ヒマスルガ、私申上ゲマシタ

ノハ手數ガ掛ルカラ困ルト云フ意味デハ

ナク、手數ヲ掛ケタ結果ガ果シテ公平ニ行

クカドウカ、其ノ點ヲ非常ニ懸念スルノデ

ゴザイマス、殊ニサウ云フ場合ニハ出來ル

ダケ手數デ濟ミマスコトデアリマシタナラ

バ、色々手數ヲ掛ケテ、色々調査シテヤ

其ノ關係者ノ一人デアリマス私ガドウモ今

リマス、併シ唯御承知ヲ願ヒマスガ、多額

給停止ノ規定ヲ擴大サレタト云フノハ適當

給停止ノ規定ヲ擴大サレタト云フノハ適當

デナイト考ヘテ居リマス、不適當デナイ迄

モ時期デナイト云フ風ニ大體私ハ考ヘテ居

マスルガ、私ハ大體論トシテハ今度ノ恩

ヤト云フコトハマダ疑ガアルノデゴザイマ

ス、ドンナモノデアリマセウカ

三井サンカラ御尋モアツダカノヤウデアリ

マスルガ、私ハ大體論トシテハ今度ノ恩

ヤト云フコトハマダ疑ガアルノデゴザイマ

ス、ドンナモノデアリマセウカ

ガアルカト思ヒマスルガ、私申上ゲマシタ

ノハ手數ガ掛ルカラ困ルト云フ意味デハ

ナク、手數ヲ掛ケタ結果ガ果シテ公平ニ行

クカドウカ、其ノ點ヲ非常ニ懸念スルノデ

ゴザイマス、殊ニサウ云フ場合ニハ出來ル

ダケ手數デ濟ミマスコトデアリマシタナラ

バ、色々手數ヲ掛ケテ、色々調査シテヤ

其ノ關係者ノ一人デアリマス私ガドウモ今

リマス、併シ唯御承知ヲ願ヒマスガ、多額

給停止ノ規定ヲ擴大サレタト云フノハ適當

給停止ノ規定ヲ擴大サレタト云フノハ適當

デナイト考ヘテ居リマス、不適當デナイ迄

モ時期デナイト云フ風ニ大體私ハ考ヘテ居

マスルガ、私ハ大體論トシテハ今度ノ恩

ヤト云フコトハマダ疑ガアルノデゴザイマ

ス、ドンナモノデアリマセウカ

三井サンカラ御尋モアツダカノヤウデアリ

マスルガ、私ハ大體論トシテ

ルノデアリマス、其ノ點ニ付テノ御見解ヲ
一ツ承リタイ、ソレカラ更ニモウーツノ理
由ハ大體今回ハ税法ノ改正ニ依リマシテ、
斯ウ云フ種類ノ人達ガ所得税其ノ他ニ依ッ
テ相當ノ増税ヲ受ケルト云フコトニナルノ
デアリマス、デアリマスカラ其ノ上ニ擴大サ
レルト云フコトニナリマスト二重課税デヤ
ナイガ、矢張リ二重課税ニ等シイ結果ヲ來
スノデアリマス、併シ私ハ決シテ從來ノ五
千圓以上ノ所得者ニ付テ之ヲ現行法ヲ不適
當ナリト云フコトヲ主張致ス者デハアリマ
セヌ、斯ウ云フ際ニ此ノ引下ヲ行フト云フ
コトノ如キハ、是ハ絶對ニ御避ケニナルベ
キコトデアルト、斯ウ云フヤウナ考ヘ方ヲ
致シテ居ルノデアリマス、就イテハ之ニ對
シテ政府ノ御所見ヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(平木弘君) 多額所得者ノ恩給
ノ一部停止ノ問題デアリマスルガ、現行法
デ恩給五千圓トナツテ居リマスルノヲ
四千圓ニ引下ダクト云フコトハ、最近ノ物
價高ノ状況或ハ増税等ノ關係カラ見テ適當デ
ヤナイヤウニ思フガ、意見ハドウダト云フ
御質問ダト承リマシタ、多額所得者ノ恩給
停止ノ場合ニ、恩給外所得ヲドノ程度ヨリ
之ヲ多額所得ト見ルカト云フコトニ付キマ
シテハ、是ハ色々見方ガアルグラウト思フ
ノデゴザイマス、現在規定シテ居リマス五
千圓ガ適當デアルカ、或ハ四千圓ガ適當デ
アルカ、或ハ三千圓ガ適當デアルカ、色々
議論モアル所デゴザイマスルガ、結局是等
ノ點ヲ色々考ヘマシタ結果、恩給外所得四
千圓、恩給最低額千圓ト致シマスレバ最
低五千圓、五千圓以上ノ收入アル方デゴザ
イマス、斯ウ云フ方ハ個人的ニ見マスレバ
生活上ノ餘裕ガナイ方モアリマセウ、或ハ

ソレ程ノ恩給外所得ガナクテモ生活上ノ餘
裕ガアル方モアルカモ知レマセヌ、個人個
人ニ見マスレバ餘裕アル、ナイ、色々アリ
マセウガ、先程申上げマシタ通りニ恩給制
度ノ畫一的ナ取扱ト致シマスレバ、大體恩
給ト恩給外所得五千圓以上ノ方ハ先づ生活
上多少體裕ガアルト考ヘテモ宜イデハナイ
カ、サウ致シマスルト恩給ハ官吏ノ退職後
ノ生活ヲ或程度保障スルト云フ意味ガ相當
強イ、大部分ノ意味グラウト思ヒマスルカ
ラスウ云フ方ニ或程度ノ犠牲ヲ拂ッテ戴イ
テ、幾分デモ國庫ノ負擔ヲ輕クスルト云フ
コトガ現在一番適當デヤナイグラウカ、斯
ウ云フ風ニ考ヘテ今度ノ改正ヲ致シタ次第デ
アリマス、ソレカラ從前ノ規定ト違ヒマス
ルコトハ、從前ハ二割ノ一本建デゴザイマ
スルガ、今度細カイ段階ヲ設ケタノデアリ
マスガ、餘り細カイ段階ヲ設ケルノハ不適
當チヤナイカト云フ御意見デゴザイマスル
ガ、實ハ是モ程度ノ問題デゴザイマシテ、
實ハ私共ト致シマシテモ餘り細カク段階ヲ
設ケルト云フコトハ如何ナモノデアラウカ、
斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、併シナガラ
現在ノヤウナ一本デモはドウモ恩給外所
得ノ五千圓ノ方モ、一萬圓ノ方モ同ジト云
フコトモドウモ如何ナモノデアラウカ、斯
ウ云フ風ナ考ヲ以チマンテ結局改正案ノヤ
ウナ段階ヲ設ケタ次第ゴザイマス

○柴田善三郎君 只今ノ御説明デアリマス
ルガ、要スルニ從來ハ六千圓、今回ハ五千
圓、是ハ恩給外迄合セテト云フコトヲ
目安ニスルコトニナツト云フ以外ニナゼサ
ト、サウ云フ人カラ見ルト一ツノ苦痛モナ
シテハ全然恩給ヲ停止シタラドウカ、斯ウ
云フ議論デアリマス、ナゼカト申シマスル
トハ有り得ルカト思ヒマスルガ、先づ私共
ハ五萬圓位ヲ標準ニシタナラバ、九牛ノ一
毛迄ハイカヌカ知レヌガ、殆ド言フニ足ラ
ウ下ダトカト云フ理由ハ、ドウモ御説明ニ
依ッテハッキリ致シマセヌ、私ハ此ノ際トシ
テ之ヲ下へ擴大シナケレバナラヌ理由ハナ
モ殆ド苦痛ガナイ、又恩給ノ趣旨カラ言シテ
モ斯ウ云フ者ニ對シテ給與スル必要ハナイ、
ツ承リタイノハ、幾ツカノ段階ヲ設ケルト
リマスレバ御上ニ對シテ御奉公モシタ、併
シ自分ガ偶々惠マレタ境遇ニ居リマスル爲ニ、
恩給モ受ケズニ濟マサレルト云フコトヲ誇
リトシテモ宜イモノデヤナイカト思ヒマス、
無論今日ニ於テモ新聞ナゾデ拜見シマスル
ト恩給權ガアツテモソレヲ郵便局ニ取リニ
行カナイト云フ人モアルト云フコトデアリ
マスルガ、是ハ誠ニ奇篤ノ人デアリマス、
奇篤ノ人デアリマスガ、斯ウ云フノハ唯其
ノ人ノ個人々々ノ考ヘ方デアリマシテ、一
般的ニ停止スルコトデ一向差支ナイ、或ハ
サウ云フ人ノ數ハ極メテ少イ、デアリマス
ルカラ法ハ極メテ輕微ノ人ノ場合ヲ採ッテ
規定期間スル必要ハナイト云フ御見解ガアルカ
モ知レマセヌ、併シ今日ノ經濟事情ト云フ
モノハ此ノ數年ノ間ニ著シク變化ヲ致シテ
居ルノデアリマス、デアリマスルカラ假ニ
五萬圓ノ所得ヲ取シテ基準ト致サレマシテモ
數百ノ數ニ上ルデヤナイカト私共ハ見テ居
リマス、之ニ對シマシテハ最低千圓ト云フ
給與ハイカヌノデ全然停止スル、斯ウ云フ
規定ヲ御設ケニナツテハドウカ、或ハ若シ御
設ケニナラナケレバ私ノ意見トシテ法文ヲ
修正シテモ斯ウ云フ意見ガ此ノ際必要デ
マスガチヨツト伺ヒマス

○政府委員(平木弘君) 只今ノ此ノ多額所
得者ノ中デ特ニ多額ノ所得アル人、例ヘバ
五萬圓以上位ノ人ノ恩給ハ之ヲ全部停止シ
タラ宜イデハナイカト云フ御意見ダト承リ
マシタ、此ノ點ニ付キマシテハ色々私ト致
シマシテモ提案迄ニ研究致シタノデアリマ
スルガ、今度其ノ規定ヲ設ケマセナカツタ

ノハ、第一ノ理由ト致シマシテハ、先程申上ゲマシタ通リニ此ノ問題ハ國庫負擔輕減ノ問題ヲ主トシテ考ヘテ居ルコトデアリマス、従ヒマシテ極メテ該當者ノ稀ナサウ云フ問題ハ餘リニ財政上ノ點カラ重視シナカッタノデアリマス、更ニ然ラバ本質トシテ全部停止シタラドウカト云フ恩給ノ根本問題ニナツテ來ルノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ只今御述ニナリマシタ通リニ恩給ノ本質ト致シマシテハ是ハ大體官吏ノ退職後ノ生活ヲ金錢的ニ補給スルト云フ性質ハ是ハ矢張リ全部ト申シマスルカ、大部分ト申シマスルカ、占メテ居ルトスウ考ヘマス、併シナガラ之ニ對シマシテ色々異論モアルト思ヒマス、當貴族院ニ於キマシテモ色々異論ガアルヤニ伺ヅテ居ルノデアリマス、殊ニ全額停止トナリマスト今迄ヨリモ相當是ハ急激ノ變化ガアル、サウ云フ急激ノ變化ヲ加ヘル、相當異論ノアルコトヲ行フト云フコトニ付キマシテハ尙十分研究致シマセスト何レトモ御答ヘ出來ナイ次第デゴザイマス、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス○柴田善三郎君 只今御説明ヲ承リマシタガ、殊ニ今ノ極メテ多額ノ所得者ニ對スル恩給停止ノ規定ノ必要ノナイト云フ點ノ御説明ハ殆ド了承致シ兼ネマスヤウニ思ヒマス、ト云フノハ大體是ハ國庫ノ負擔ト云フコトヲ基準ニシテ今度ノ改正ヲ行ツタ、サウ云フ極メテ少數ノ場合ヲ考ヘテ改正スル必要ハナイ、斯ウ云フヤウナ見方ガツク現ハレタヤウニ思ヒマス、併シ大體其ノ趣旨カラ申セバ、勿論數年前ニ於テハ、一億六千萬圓ノ恩給ハ二三年ノ中ニハ一億九千萬圓ニナツタ、恐ラク事變方濟ンダラ二億ヲ超シマセウ、斯ウ云フ恩給ノ増額ニ對シマシテ、

ル必要ハナイト云フヤウナ普通ノ場合トマ
ルデ違フノデハナイカ、斯ウ云フヤウニ私
ハ考ヘマス、ソレカラ次ニ急激ノ變化ヲ加
ヘルト云フコトガドウカト云フヤウナ御說
モアリマシタガ、併シ大體假ニ千圓、二千
圓ノ恩給ヲ持ッテ居ル、ソレヘ亘萬ノ收入ガ
アルト云フコトデアリマスナラバ、急激ノ
變化ヲ加ヘルコトガドウカト云フコトノ理
由ハ是亦立チ難ノデヤナイカト思ヒマ
ス、極メテ生活ノ困難ナ人ニヤルナラバ格
別、一向生活上ニ關係ノナイヤウナ境遇ノ
人ニ變化ガ急激ニ來ルカラト云フヤウナ
コトハ、理由ニナラナイノデヤナイカト
思ヒマス、ケレドモ若シ假ニアナタノ御說
ノヤウニ急激ノ變化ハイカスト云フコ
トデアルナラバ、丁度若年停止ガアツテ、
現在職中ノ者ニハ適用セヌト云フコトニシテモ宜イノダ、
併シ私ハサウ云フ必要ハナイト思ヒマス、
之ニ對スル御考ハドウデゴザイマセウカ、
尙更ニ之ニ附加ヘマシテ私ハ此ノ點方實ハ
委員諸君ト御相談シテ幸ニ御賛成ヲ得レバ、
此ノ點ニ付テハ修正的ノ御研究ヲ願ツテヘ
ドウカト云フ風ニ考ヘル、サウ云フ場合ニ
付テドウ云フ御考ヘ方ヲナサイマスカ、此
ノ點モ併セテ一ツ伺ヒタイト思ヒマス
○政府委員(平木弘君) 先程申上ゲマシタ
多額所得ノ停止ノ問題ハ、財政的ナ理由ダ
ト申上ゲマシタガ、勿論ソレハ財政的ノ理
由ダケデハアリマセヌ、財政的ノ理由ガ勿
論アリマスルガ、ソレト共ニ此ノ多額所得
ヲ或程度増率スルト云フコトガ適當ダト、
斯ウ云フ風ナニツノ理由カラ行ッタ次第デ

アリマス、ソレデアリマスル結果致シ
マスル處ハ、ドノ位ノ率ニスルカト云フ程
度ノ問題ニナルカトモ考ヘマスルガ、五萬
圓以上ト云フ風ナ方ノ停止率ヲ特別ニ取扱
フ、全額ヲ停止スルト云フコトニ付キマシ
テハ、提案スル時ニハソコ迄ノコトハ適當
ト考ヘナカッタ次第デゴザイマス、尙此ノ問
題ニ付キマシテハ今後研究シタイ、斯ウ云
フ風ニ考ヘマス、修正ノ御意見デゴザイマ
スルガ、此ノ點ニ付キマシテハ私カラ御答
ヘルヌハ如何カト思ヒマスガ、唯立案者
ト致シマスレバ色々ナ點カラ考ヘマシテ、
只今ノヤウナ御話モ色々考ヘマシタ結果此
ノ案ヲ最モ適當ダ、斯ウ云フ風ニ考ヘタ次
第デアリマス

ニ又御願ヒシタイ、ソレデハ一時休憩致シ
マシテ、午後一時半カラ開キマス。

午前十一時五十四分休憩

午後一時四十二分開會

○委員長(子爵加藤泰通君) 只今カラ今朝

ニ引續イテ審議ヲ進メマス、柴田委員ニ伺ヒ

マスガマダ御質問ガアルト思ヒマスガ……

○柴田善三郎君 細カイ所デ一ツダケ……

恩給ノ受給者ガ死亡致シタ場合 扶助料ニ

移リマスト直グサマ給與ガ半額ニナルト

云フ規定ニナツテ居ルヤウニト思ヒマスガ、

恩給デ漸ク生活ヲ立テ居ルト云ヤウナ者

ニ取りマシテハ、直ニ半額ニ減ルト云フコ

トハ非常ナ苦痛デヤナイカト思フノデアリ

マス、是ハ何カ是初ノ間ハ恩給額ト同一ノ

額ヲ給與スルトカ、或ハ半分ヨリモ多イモ

ノヲ給與スルトカ、サウシテ數年ノ後ニ於

テ初メテ本當ノ扶助料額ヲ給與スルト云フ

ヤウナコトヲシテヤリマス場合ニハ所謂急

變ヲ避ケテ生活上ニ於テ餘程困難ガ緩和サ

レルデヤナイカ云フ風ニモ考ヘテ居リマス

セウカドウカ、又之ニ對スル御意見ハドン

ナモノデアリマセウカ、其ノ點ヲ一ツ御意

見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(平木弘君) 只今ノ扶助料ノ問

題デゴザイマスルガ、是ハ恩給法制定ノ當

初以來恩給ノ半額ヲ扶助料トシテ給スルト

云フ建前ニナツテ居リマス、是ハ恩給法ノ建

ナツテ居ル關係上、扶助料ガ斯ウ云フ

風ニ半額ニナルト云フ建前ニナツテ居ル

ンヂヤナイカト思フノデアリマス、之ニ

付キマシテハ一般的ニ扶助料ヲ増額ス

ルト云フ問題デナシニ、戰時關係、今度ノ

事變關係ノ遺族ニ對シマシテハ、先程モ申

述ベマシタ通りニ扶助料ヲ増額スル、或ハ遺

族ノ員數ニ依ツテ遺族加給ヲヤルト云フ風

ナ改正ヲ致シマシテ、相當大幅ニ扶助料ヲ

増額シタノデゴザイマス、其ノ外ノ一般的

ノ扶助料ニ付キマシテ増額スルト云フコト

ニナリマスルト、是ハ實際問題ト致シマシ

テハ只今御述ニナリマシタヤウニ、恩給ヲ

貰ジテ居リマシタ公務員ガ死亡致シマスレ

バ扶助料ハ減ル、或ハ其ノ主人デアリマス

人ガ多少其ノ外ニモ收入ガアツトマア考

ヘラレマスルカラ、收入ノ點カラ見マスト

相當減少シテ、生活ニ相當困ルト云フ問題

ガアルダラウトハ考ヘマスガ、之ヲ増額ス

ルト云フコトニナリマスルト現在ノ恩給法

ヲ根本的ニ變ヘルト云フ大キナ問題ニナリ

マスルシ、旁豫算モ相當大キナ問題ニモ

活者其ノ他ノ俸給ノ停止ノ問題ニモ關聯致

シマスシ、或ハ又相當豫算ニモ關聯スル問

題デゴザイマスルカラ、尤モ豫算ノ問題ハ

必要ガアレバ増額シテモ已ムヲ得ヌ場合モ

勿論アリマスガ、俸給停止、其ノ他ノ物價

ノ關係等モアリマスノデ、只今ノ所増額致

シ兼ネルヤウナ狀況デゴザイマス

○委員長(子爵加藤泰通君) ソレデハ現行

法ト改正案トノ比較ノ御説明ヲ一ツ願ヒマ

ス

○政府委員(平木弘君) 先達テ現行法ト改正案ヲ比較一覽表ト云フノヲ差シ上ゲテ置

キマシタノデスガ、之ガ現行法ト改正法ノ

簡單ニ比較出來ルヤウニナツテ居リマスカ

ラ、之ニ付キマシテ簡単ニ申上げタイト思

ヒマス、初メノ第六條ノ二、是ハ時效ノ問

題デアリマシテ、是ハ當然ナ規程デゴ

ザイマス、其ノ次ノ第十七條ハ、是ハ内地

ノ公立中等學校以上ノ教育職員等ノ一時恩

給デゴザイマス、是ハ現在最終ニ俸給ヲ支

給致シマシタ團體、市デアルトカ、町村デ

アルトカ、府縣デアルトカ、町村デアルト、

ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

カサウ云フ風ナ團體デ一時恩給ハ全部ヲ負

云フコトニ致シタノデアリマス、三十五條ハ外ノ所ハ現行法ノ一箇月半ニスル、斯ウ云フ

風ナ趣旨ヲ以チマシテ、是ハ勅令デ規定ス

ルコトデアリマスルガ、其ノ趣旨デ一箇月

半以内ト云フコトニ改メタノデアリマス、

其ノ次ハ戰車加算デアリマスガ、戰車ハ御

承知ノ通リニ今度ノ戰爭ニ於キマシテモ非

常ニ武勳ヲ現シテ居リマスルガ、サウ云フ

武勳ヲ離レマシテ、戰車ハ極メテ狭イ戰車

内ニ操縦、其ノ他ノ勤務ニ服シテ居リマス

爲ニ、非常ニ不健康デアル、ノミナラズ操

縦其ノ他ニ依ル身體ノ危險ト云フコトモ相

當アリマスノデ、ソレ等ノ點ヲ考慮致シマ

シテ、一ヶ月ニ付テ半月以内ヲ加算スルト

云フ新シイは規定デアリマス、其ノ次ハ

第三十八條ノ問題デスガ、是ハ不健康業務ニ服スル制限デアリマス、現在一年以上不

カ、其ノ他大キナ團體デアリマシテ千圓、二千圓ヲ出スト云フコトガ財政上必シモ困

難デナイノデ、ソレハ其ノ儘ニシテ置キマシタ、其ノ次ニ三十二條デ、現行法ニ依リマスト戰地外戰務加算、是ハ軍人ニ限ル譯

デアリマスガ、戰地外ニ居リマス者モ戰地ニ居リマス者ト密接不可分一體ノ關係ヲ成

シマシテ戰務ノ遂行ニ當ルノデアリマスカラ、現在一箇月半付ケテ居ルノデアリマスルガ、之ヲ今度一箇月、半箇月ヲ減ズルト

シマシテ戰務ノ遂行ニ當ルノデアリマスカラ、現在一箇月半付ケテ居ルノデアリマスルガ、之ヲ今度一箇月半ニスル、斯ウ云フコトニ致シタノデアリマス、三十五條ハ外ニ國鎮戍加算デアリマス、是ハ現在滿洲國ニ駐屯シテ居リマスル部隊ニ適用致シテ居リマスガ、御承知ノ通り滿洲ト申シマシテモ其ノ駐屯地ノ事情ニ依リマシテ、非常ニ困難ノ點ガ違フノデアリマス、ソレデアリマスルカラ、

比較的治安ノ好イ所、惡イ所ヲ分ケマシテ、

外ノ所ハ現行法ノ一箇月半ニスル、斯ウ云フ

風ナ趣旨ヲ以チマシテ、是ハ勅令デ規定ス

ルコトデアリマスルガ、其ノ趣旨デ一箇月

半以内ト云フコトニ改メタノデアリマス、

其ノ次ハ戰車加算デアリマスガ、戰車ハ御

承知ノ通リニ今度ノ戰爭ニ於キマシテモ非

常ニ武勳ヲ現シテ居リマスルガ、サウ云フ

武勳ヲ離レマシテ、戰車ハ極メテ狭イ戰車

内ニ操縦、其ノ他ノ勤務ニ服シテ居リマス

爲ニ、非常ニ不健康デアル、ノミナラズ操

縦其ノ他ニ依ル身體ノ危險ト云フコトモ相

當アリマスノデ、ソレ等ノ點ヲ考慮致シマ

シテ、一ヶ月ニ付テ半月以内ヲ加算スルト

云フ新シイは規定デアリマス、其ノ次ハ

第三十八條ノ問題デスガ、是ハ不健康業務ニ服スル制限デアリマス、現在一年以上不

健康業務ニ從來スル場合ニ、不健康業務ノ
加算ヲ付ケテ居リマス、改正案デハ之ヲ六
箇月ニ緩和スル、斯ウ云フ趣旨デアリマス
ガ、今度ノ改正ノ主タル目標ハ陸海軍ノ病
院ニ看護兵トシテ勤務シテ居リマスル者ガ、
相當其ノ勤務ガヒドイノデアリマシテ、半
年後ニ短縮スルノガ適當デアラウ、斯ウ云
フ風ナ考デヤッタノデアリマス、勿論國家ト
致シマシテハ其ノ他ノ不健康業務ニアリマ
ス者ニモ適用スルコトニナリマスケレドモ、
其ノ外ノモノハ職業的ニ從事シテ居リマス
カラ、一年内デ殆ド罷メルト云フモノデハ
アリマセヌカラ、實際ノ問題トシテハ陸海
軍ノ病院ノ看護兵ダケノ問題ニナルダラウ
ト者ヘテ居リマス、其ク次ハ五十八條、若
年停止デアリマスガ、是ハ先程カラ色々申
上ゲマシタ通リニ、若イ者ハマダ轉職ノ出
來ル可能性モアル、或ハ仕事モ出來ルト云
フ關係デ、三十迄ハ六分ノーラ四分ノ一一
増率致シマシタ、是ハ附則ノ方デ、附則ノ
第三條ニ、現在ノ在職中ノ者ニハ適用シナ
イト云フコトヲ附則ノ方デ書イテ居リマス、
是ハ先程申上ゲマシタガ、主ニ陸海軍ノ下士
官、之ニ該當スル者ハ多ク戰地ニ參ツテ居ル
者ガ大部分デゴザイマスカラ、戰地ニ現在行ッ
テ居ル者ニ付テハ適用シナイ、四月一日以
降ニナリマスト、其ノ後ニ就職シタ者カラ
成ツタノデアリマス、恩給外ノ所得ヲ五千圓
ノ次ハ高額所得ノ停止デアリマス、是ハ先
程カラ色々問題ニナリマシタノガ條文ニ相
当スル、斯ウ云フ趣旨デゴザイマス、其
ノ次ハ高額所得ノ停止ヲ率ニ二割
トナツテ居リマシタノヲ、新シク下ダマシタ

部分ニ付テハ一割、ソレカラ段々所得額ニ
應ジマシテ二割、二割五分、三割ト云フ風
ナ停止率ヲ設ケルコトニシタノデアリマス、
ソレカラ第七十二條デゴザイマス、是ハ所
謂内縁ノ妻、子トノ問題デアリマスルガ、
先般衆議院デ御協賛ニナリマシタ委託又ハ
郵便ニ依ル戸籍届出ノ法律ノ適用ニ依リマ
シテ、遺族ト認メラレル者モ恩給法上ノ遺
族、死亡當時カラ居タ遺族ト云フ取扱ヲシ
ヨウト云フ意味デ此處ニ改メタノデアリマ
ス、其ノ次ハ遺族ノ順位デアリマスルガ、
之ヲ此ノ規定ガアリマセスト、新シク遺族
トナリマシタ者ハ現在扶助料ヲ貰ツテ居リ
マスル者ガ死亡、其ノ他失權致シマシタ後
ニ、遺族扶助料ヲ貰フコトニナルノデアリ
マス、ソレデハ新シク遺族ヲ保護シヨウト
云フ趣旨ノ達成ニ道ウデアラウカト云フコ
トヲ考へマシテ、第一順位ト申シマスカ、
一般ノ順位ニナルト云フ規定デアリマス、
例ヘ申シマスレバ現在公務員ノ遺族ニ父
カ母カト云フコトニナリマスルト、直ニ死
亡ノ時カラ父カ母ニ扶助料ヲ出ス、處ガア
ノ司法省カラ出マンシタ特別ノ法律ニ依リマ
シテ、内縁ノ妻ガ新シク戸籍ニ入りマスル
ト、此ノ規定ガアリマセスト、其ノ父ガ死
ンダ後ニ妻ノ順位ガ廻ッテ來ルノデアリ
マスルガ、ソレヲ此ノ規定ニ依リマシ
テ妻ガ父ニ先ンズル一般原則ノ順位ニ從フ、
斯ウ云フヤウナ趣旨デゴザイマス、ソレカ
ラ第七十四條ノ二デアリマスガ、此ノ第一
ハ扶助料ヲ何時カラ支給スルカト云フ問題、
扶助料支給ノ時期デアリマス、扶助料ハ
戸籍届出ノ受理ノ日カラ支給スルト云フコ
ト、是ハ普通考ヘマスト死亡ノ時カラ支給

ルカト思ヒマスガ、只今申シマシタ通り、
死亡ノ時ニハ多クノ場合父カ母ガアルノデ
アリマス、尤モ無イ場合モアリマスケレド
モ、多クノ場合有リマス、サウシマスト其
ノ父カ母ガ遺族扶助料ヲ貴ツテ居ル、ソレデ
アリマスルカラ貴ツテ居ルモノヲ妻ニ直グ
死亡ノ時カラ與ヘルト云フコトナリマスト、
既ニ貴ツタモノハ返サナケレバナラヌ、二本
ノ遺族扶助料ヲ出スコトハ出來マセヌカ
ラ、返還セシメナケレバナラヌ、斯ウ云フ
問題ニナツテ來マス、サウシマスト此ノ斯ウ
云フ風ナ内縁ノ妻其ノ他ノ關係ガアル、家
族ト云フノハ是ハ農民、其ノ他ガ多イダラ
ウト思ヒマス、返スト云フコトモ非常ニ困
難ナ問題モ起リマセウシ、支給ニ困難ヲ生
ジマスカラ、其ノ戸籍ノ受理シタ日カラ支
給スル、其ノ代リニ親ハ死亡ノ時ニ遡ツテ失
權スル譯デアリマスガ、戸籍受理ノ日迄ハ
遺族扶助料ヲ貴フ、權利ヲ失ハナイ、斯ウ
云フ風ナコトニナツタ、一時扶助料ニ付テモ
此ノ規定ヲ設ケタノデアリマス、其ノ次ハ
外地ノ在勤加算デアリマス、現在「一月ニ付」半
月「加算スルコトニナツテ居リマス、之ヲ「半
月以内」ト致シマシタノハ、朝鮮、臺灣、關
東州ヲ大體「三分ノ一月」「加算ニ減率スル、
斯ウ云フ趣旨デアリマス、其ノ趣旨ハ御承
知ノ通り、臺灣ハ領有以來、朝鮮ハ併合以
來、關東州ハ租借以來現在ノ半年間ノ加算
ヲ付ケテ居リマス、是ハ其ノ後、衛生、交
通、文化各方面ニ亘ツテ格段ノ進歩ヲ遂ゲマ
シテ、面目ヲ一新シテ居リマスルカラ、是
ダケ減スコトガ適當デアルト云フ風ナ趣旨
デアリマス、ソレカラ其ノ次ハ國境警備デ
アリマスルガ、滿洲國ノ國境警備、之ヲ現
在「一月半」ニナツテ居リマスノヲ「二月」ニス

ルスウ云フ趣旨デアリマス、從ヒマシテ先キ申上ゲマシタ外國鎮戍ト一緒ニシテ考ヘマスレバ、滿洲國ニ於キマシテハ、現在新京奉天ニ居リマス者モ、國境ニ居リマス者モ全部「一月半」デアリマスルガ、今度ノ改正ニ依リマシテ、國境ノ方ハ「二月」ソレカラソレニ次グ地方ハ「一月」新京、奉天、何處ニナリマスカ、是ハマダ決ッテ居リマセヌガ、サウ云フ所ハ「一月」此ノ三段階ニ外國鎮戍ヲ分ケル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、附則ハ大體其ノ本文ト同ジヤウナ趣旨デ、本法施行前ノモノヲ同ジヤウナ趣旨デ、救濟スルト云フコトデゴザイマス
○村上恭一君 質問ハ逐條ニオヤリニナリマスルカ、或ハ銘々勝手ニ飛ビノニシテ宜シウゴザイマスカ
○委員長(子爵加藤泰通君) ドウデゴザイマセウカ、是ダケ承リマシクラ質問ハ一緒ニ全部込メテ質問シテ戴クト、云フコトデ……
○村上恭一君 ソレデハ先ヅ手始メニ細カイコトヲ御伺ヒ致シマスガ、第三十七條ノ二ニ、是ハ新ランシイ規定デアリマスガ「戰車乗員タル公務員其ノ職務ヲ以テ戰車ニ搭乗シ戰車勤務ニ服シタルトキハ」トアリマス、現行法ニモ之ニ類似シタ規定ガアリマス、即チ第三十六條ニ「航空機乘員タル公務員其ノ職務ヲ以テ航空勤務ニ服シタルトキ」トアリマス、第三十七條モ同様デアリマス、從來ノ第三十六條ヤ第三十七條ニハ、當該公務員ガ航空機ニ搭乗シ、又ハ潛水艦ニ搭乗シ、ト云フコトハ書イテアリマセヌ、今回改正ノ第三十七條ノ二ニ於キマシテ、特ニ當該公務員ガ、其ノ職務ヲ以テ戰車ニ搭乗シ、ト云フコトハ書キ込ンデアリマス、彼

無イ理由ハ必要ハナイト云フ御見解ナシ

スカ

○政府委員(権員証三君) 左様デゴザイマス

○村上恭一君 ソレデハチヨット外ノコトヲ

伺ヒマスガ、是ハ改正案ニ付テノ質問デヤ

ナイノデシテ、現行法ノ運用ニ付テノ質問

デアリマス、ソレハ外デモアリマセスガ、

午前以來問題ニナシテ居リマシタノ多額所

得ノ控除ノ點デアリマス、アノ多額所得ノ

控除ハ實際ニドウ云フ風ニ取扱シテオイデニ

ナリマスカ、問題ノ要點ト思ヒマスルノハ、

此ノ多額所得ノ控除ヲ行フ爲ニハ、其ノ恩

給受給者ノ所得金額ヲモ決定シナケレバナ

リマセヌ、其ノ決定ハ何レノ機關ニ於テ之

ヲ決定サレルノデアリマスルカ、是ハ所得

稅賦課ノ爲ニ、稅務官廳ニ於テモ決定スル

コトト思ヒマス、其ノ稅務官廳ト、ソレカ

ラ恩給官廳トノ關係ハドウ云フ風ニナシテ

居リマスカ、其ノ邊ニ付キマシテ、當局ノ

御説明ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(権員証三君) 私シカラ都合上

御答辯ヲ申上ゲマス、此ノ多額所得者ノ所

得ガドレダケアルカト云フコトヲ直接恩給

局ニ於キマシテ、是ハマア恩給局バカリデ

ハナイ、地方ノ恩給ニ付キマシテハ地方デ

ヤル譯デスガ、實情ハ地方ノ恩給受給者ニ

付キマシテハ、モウ殆ド問題ガアリマセヌ

ノデ、國費ノ恩給バカリデスト恩給局、デヤッ

テ居ル譯デアリマス、直接ニ恩給局ガ手分

ケヲ致シマシテ、之ヲ調査致シ得ルナラバ、

是ハモウ非常ニ結構デアリマスケレドモ、

サウ云フコトハ事實上ニ於テハアリマセヌ

ノデ、ソレデ稅務署方面デ所得稅ヲ調査致

シマス時ニ、此ノ恩給ニノミ關聯シテモ亦

其ノ結果ヲ利用シタイト云フコトヲ申

述ベマシテ、其ノ目的ヲモ含ンデ、趣

旨ヲモ含メマシテ調查ヲ致シテ居ル譯

デアリマス、此ノ結果ヲ恩給局ノ方ニ

報告ヲ受ケマシテ、恩給局ガ之ニ關シマシ

テ停止スペキモノ、停止スペカラサルモノ

ト云フモノヲ區別シテ、停止スペキモノハ

停止通知ヲスルト云フコトニ相成シテ居ルノ

デアリマス、ソレデ此ノ實際ノ恩給ノ金額

ノ差引ヲ調べテ、貯金局ヲ通ジマシテ、郵

便局デ行フト云フコトニナシテ居リマス

○村上恭一君 丁度今日恩給局長モ御列席

デアリマスカラ、今ノ點ニ付キマシテハ恩

給局長カラ御説明ヲ承リタウゴザイマス

○政府委員(平木弘君) ソレハ恩給法施行

令ノ大體規定ニ依リマシテ、稅務署長ノ調

査ニ依リ裁定官廳之ヲ停止スルト云フコト

ニナシテ居リマシテ、稅務署長ハ此ノ恩給施

行令ニ基イテ調査ヲ致シマシテ報告スル譯

デアリマス、且ツ其ノ前ニ一千圓以上ノ該

當者ニ付キマシテハ、前ニ恩給局ヨリ稅務

署ニ通知シ、ソレニ基イテ調査ヲシテ、サ

ウシテ恩給局ガ決定スル、斯ウ云フ方法ヲ

執テ居ル譯デアリマス

○村上恭一君 所得稅ノ課稅標準ト言ヒマ

スカ、課稅客體ト言ヒマスカ、其ノ所得金

額ト、ソレカラ多額所得控除ノ基礎トナル

所得金額ト、其ノ決定ノ標準ハ同ジデスカ、

違ヒマスカ

○村上恭一君 同一デアリマスカ

○政府委員(権員証三君) 理論的ニ申セ

スカ、必ズシモ、同一デアル譯ハナイト思ヒ

ガアルト感ジマスノハ、其ノ時期ノ喰達ヒ

シマシテ、獨立ニ調査スルト云フコトハ事

ニ瓦リマスルガ、世間デハ往々ソレガサウ

デナイヤウニ申スノデ、稅務署ノ決定額ト、

ソレカラ恩給ノ支給額ノ基礎トセラレル所

得額トガ違フ、後ノ方ヲ多ク見ラレテ、從ツ

テ其ノ恩給ノ停止金額ガ意外ニ多クナツ

テ居ルト云フ、マア不平ト言ヒマセウカ、

サウ云フ聲ヲ聞クコトガ往々アルノデア

リマスルガ、今ノ當局ノ御説明ニ依リマス

ルト、サウ云フコトハナイ筈ナシデアリマ

スガ、チヨット忿ノ爲ニ確力メテ置キタイ

ト思ヒマス

○政府委員(権員証三君) 其ノ不平ノ聲ト

申シマスルノハ、恐ラク外ノ事實ガ加味サ

レテ居ルノデヤナイカト思シテ居リマス、ト

申シマスノハ、停止ガゾリマス、マアヅル

ト云フ言葉デ言ヒ現シ得ルカドウカ知リマ

セヌガ、時期ガズシテ後ノ方ヘ參リマスノ

デ、所得稅ヲ納メル時期ト、アノ年度ト、恩

給ノ停止ノ年度トガ喰達ヒヲ生ジマス爲ニ、

サウ云フヤウナコトヲ感ズルカモ知レマセ

ヌガ、其ノ恩給ノ方ノ停止ヲスル基礎ハ前

ノ年ノ所得金額ニナル場合ガアリマスノデ、

サウ云フ場合ニブチ當ツタ時ニ、恐ラクサウ

云フ風ニドウモ違フ結果ガアルデヤナイカ

ト云フコトヲ感ゼラレルノデヤナイカト思

テ居リマス、年ヲ同ジクシテ起ル場合ニ於

キマシテハ、常ニ一致スル苦デアリマス、

尤モ是ガ書キ損ジカナンカデ、全クノ間違

ヒデ多少ノ金額ガ違ツタト云フヤウナコト

ハ、是ハアルカモ存ジマセヌガ

デ訂正ヲ致シテ居リマスカラ、實質的ニ相違

ガアルト感ジマスノハ、其ノ時期ノ喰達ヒ

リマス

○村上恭一君 サウ致シマスト、聊カ餘談

ニ瓦リマスルガ、世間デハ往々ソレガサウ

デナイヤウニ申スノデ、稅務署ノ決定額ト、

ソレカラ恩給ノ支給額ノ基礎トセラレル所

得額トガ違フ、後ノ方ヲ多ク見ラレテ、從ツ

テ其ノ恩給ノ停止金額ガ意外ニ多クナツ

テ居ルト云フ、マア不平ト言ヒマセウカ、

サウ云フ聲ヲ聞クコトガ往々アルノデア

リマスルガ、今ノ當局ノ御説明ニ依リマス

ルト、サウ云フコトハナイ筈ナシデアリマ

スガ、チヨット忿ノ爲ニ確力メテ置キタイ

ト思ヒマス

○政府委員(権員証三君) 其ノ不平ノ聲ト

申シマスルノハ、恐ラク外ノ事實ガ加味サ

レテ居ルノデヤナイカト思シテ居リマス、ト

申シマスノハ、停止ガゾリマス、マアヅル

ト云フ言葉デ言ヒ現シ得ルカドウカ知リマ

セヌガ、時期ガズシテ後ノ方ヘ參リマスノ

デ、所得稅ヲ納メル時期ト、アノ年度ト、恩

給ノ停止ノ年度トガ喰達ヒヲ生ジマス爲ニ、

サウ云フヤウナコトヲ感ズルカモ知レマセ

ヌガ、其ノ恩給ノ方ノ停止ヲスル基礎ハ前

ノ年ノ所得金額ニナル場合ガアリマスノデ、

サウ云フ場合ニブチ當ツタ時ニ、恐ラクサウ

云フ風ニドウモ違フ結果ガアルデヤナイカ

ト云フコトヲ感ゼラレルノデヤナイカト思

テ居リマス、年ヲ同ジクシテ起ル場合ニ於

キマシテハ、常ニ一致スル苦デアリマス、

尤モ是ガ書キ損ジカナンカデ、全クノ間違

ヒデ多少ノ金額ガ違ツタト云フヤウナコト

ハ、是ハアルカモ存ジマセヌガ

デ訂正ヲ致シテ居リマスカラ、實質的ニ相違

ガアルト感ジマスノハ、其ノ時期ノ喰達ヒ

ノ爲ニ感ジラレルノデヤナイカト思ッテ居リマス、喰違ヒノアル場合ト、ナイ場合トガ生ジマスカラ、喰違ヒノナイ場合ニ於テハ一致スル筈デアリマス

○村上恭一君 繰ケテ宜シウゴザイマスカ、ソレデハ先ニ行キマシテ、第七十二條ノ新シイ項デアリマスルガ、後段ノ方ニナッテ居ル所デスガ、「第一項ノ規定ノ適用ニ付テハ當該届出ガ届出人ノ死亡後二年内ニ受理セラレタルトキニ限リ」云々トアリマス、茲ニ二年ト云フ期間ヲ限定スルハドウ云フ理由デアリマスルカ、關係ノ法令、即チ本條ノ前段ノ方ニ「他ノ法令ニ依リ」云々トアリマス、

其ノ、他ノ法令トハ今期ノ議會ニ於テ兩院ヲ通過シマシタ所ノ「委託又ハ郵便ニ依ル戸籍届出ニ關スル法律」、其ノコトデアラウト恩ヒマスルガ、此ノ法律ニ於キマシテハ、別段斯様ナ期間ノ限定ハナインデアリマスガ、此ノ恩給法ニ於キマシテ、斯様ニ届出人ノ死亡後二年内ト云フヤウニ限定セラレルノハドウ云フ理由デアリマスカ

○政府委員(平木弘君) 是ハ特別法令ニハ御承知ノ通り二年ノ制限ヲ置イテアリマスガ、恩給法ニ特ニ置キマシタ理由ハ、公務員ガ死亡致シマスレバ、多クノ場合父トカ母トカト云フ、此ノ扶助料ヲ受ケル權利者ト申シマスカ、サウ云フ人ガアルノガ多メルト云フ點モアリマスノデ、戸籍ノ方ハ非常ニ長イ期間經ツテ戸籍ニ入レルトカ、ト云フコトニナリマス

○政府委員(平木弘君) 御承知ノ通り二年ノ制限ヲ置イテアリマスカ、ソガ、恩給法ニ特ニ置キマシタ理由ハ、公務員ガ死亡致シマスレバ、多クノ場合父トカ母トカト云フ、此ノ扶助料ヲ受ケル權利者ト申シマスカ、サウ云フ人ガアルノガ多メルト云フ點モアリマスノデ、戸籍ノ方ハ非常ニ長イ期間經ツテ戸籍ニ入レルトカ、ト

云フコトニナリマスルト云フト、其ノ既存ノ権利者ノ地位ヲ非常ニ長イ間不安ナラシメルト云フ金錢的ナ關係ガアリマセヌカラ、サウ云フ制限ハナイカトモ考ヘマスルガ、恩給法ニ於テハ、サウ云フ場合モ考ヘナケ

レバイケマセヌノデ、特ニ二年ノ制限ヲ置イタノデゴザイマス

○村上恭一君 サウ致シマスト、委託届出ノ場合ニハ確認ノ裁判ヲ要スル、其ノ裁判

ガ遅レタ爲ニ、此ノ届出ノ受理ガ届出人ノ死亡ヨリ二年以上後ニナルト云フコトモアリ得ルト思ヒマスルガ、サウ致シマシタ場合ニハドウナルノデスカ

○政府委員(平木弘君) 二年ヲ設ケマシタノハ、大體ニ於キマシテ其ノ裁判ノ期間ヲ考慮ニ入レタ積リデアリマス、普通ノ狀態デアリマスルベ、戰地アタリカラ委託スル場合デアリマスルガ、是ハサウ長ク掛ラナ

イ、主ニ時間ヲ要シマスルノハ裁判ノ期間デアリマス、大體二年アレバ裁判ノ場合ハ大丈夫ダト云フ意味デアリマスルガ、或ハトトナル場合ニ於テモ其ノ者ハ、同條ニ規定スル云々成ル程妻ナル者が生ジナカッタト云フコトニナルノデスナ、サウデスカ、

公務員又ニ之ニ準スヘキ者ノ遺族ト看做サ

ルル者」例ヘバ妻デスナ、ソレガ「生シタルカ爲扶助料ヲ受クルノ權利ヲ有セサリシコ

トトナル場合ニ於テモ其ノ者ハ、同條ニ規

定スル云々成ル程妻ナル者が生ジナカッタト云フコトニナルノデスナ、サウデスカ、

分リマシタ

○子爵波多野一郎君 第三十五條ノ外國領

成ト云フノハ、先程御説明ニ依リマスト満

洲國ノ鎮戍ト云フヤウニ伺ヒマシタガ、是

ハ矢張リ平時ニ於キマシテ、支那沿岸ノ海

軍ノ警備艦隊モ含マレテ居ルノデセウカ

ニ依テ此ノ目的ヲ達シテ居ルト思ヒマスルガ、殊ニ海軍ニ於テハ非常ニ澤山ナ志願兵

ヲ採用致シマシテ、略此ノ目的ヲ從來達シ

テ居ルト思ヒマス、又陸海軍共ニ再服役ニ

依リマシテ優秀ナ下士官ヲ得テ居ルト思ヒ

マスルガ、勿論是等ノ人ハ恩給ヲ得ルト云

○子爵波多野一郎君 陸海軍ノ御方ニ伺イタイト思ヒマス、今回ノ改正ニ依リマシテ自然恩給年限ト云フモノガ延長ニナルノデアリマスルガ、從來陸海軍ノ下士官兵ニ優秀ナ者ヲ持シテ居ル、即チ精兵主義ノ目的ヲ達スル爲ニハ、優秀ナ志願兵ヲ得ルコト及び優秀ナ兵ノ再服役ヲ獎勵スルコト、是等ニ依テ此ノ目的ヲ達シテ居ルト思ヒマスルガ、殊ニ海軍ニ於テハ非常ニ澤山ナ志願兵ヲ採用致シマシテ、略此ノ目的ヲ從來達シテ居ルト思ヒマス、又陸海軍共ニ再服役ニ依リマシテ優秀ナ下士官ヲ得テ居ルト思ヒマスルガ、勿論是等ノ人ハ恩給ヲ得ルト云

○政府委員(平木弘君) 此ノ規定ハ先ツキマスレバ、滿洲國ニ限ツタ譯デハアリマセヌ、唯現在此ノ規定ヲ適用シテ居リマスル

○政府委員(平木弘君) 此ノ規定ハ先ツキ

マスレバ、滿洲國駐屯申上ゲマシタガ、規定ト申シ

申上ガタ譯デアリマス、海軍ノ部隊ノ方ハ

リマス關係上、ソチラノ方ニ行ツテ居リマス

モ志願兵ノ志願及ビ再服役ト云フコトニ無

關係デハナイト思ヒマス、就キマシテハ此

ノ改正以後ニ於キマシテモ、別段是等ニ付

テ何モ心配スルヤウナコトノ影響ハナイト

云フ御見込デアリマスカ、尤モ現在ハ戰時

狀態デアリマスルカラ、サウ云フヤウナ

影響モ大シテ現レテ居リマセヌデセウガ、

平和ニ復シマシタ後ニ於テモ、是等ニ付テ

何モ多クノ考慮ヲ要シナイト云フ御見込デ

アリマセウガ、チョット御伺ヒシタイト思ヒ

マス

○委員長(子爵加藤泰通君) 御諮詢致シマ

スガ、陸海軍カラ政府委員ガ來テ居ラレマ

別ヲ御立テニナルノデゴザイマスカ

○政府委員(平木弘君) 只今ノ外國鎮戍ノ一箇月半、或ハ一箇月ニ指定スル問題デアリマスルガ、主ニ治安ノ問題ヲ加味スル譯

ナ、ソレガ「第七十二條第三項ノ規定ニ依リ得ルト思ヒマスルガ、サウ致シマシタ場

合ニハドウナルノデスカ

○子爵波多野一郎君 陸海軍ノ御方ニ伺イ

カ爲扶助料ヲ受クルノ權利ヲ有セサリシコ

トトナル場合ニ於テモ其ノ者ハ、同條ニ規

定スル云々成ル程妻ナル者が生ジナカッタト云フコトニナルノデスナ、サウデスカ、

公務員又ニ之ニ準スヘキ者ノ遺族ト看做サ

ルル者」例ヘバ妻デスナ、ソレガ「生シタル

カ爲扶助料ヲ受クルノ權利ヲ有セサリシコ

トトナル場合ニ於テモ其ノ者ハ、同條ニ規

定スル云々成ル程妻ナル者が生ジナカッタト云フコトニナルノデスナ、サウデスカ、

分リマシタ

○子爵波多野一郎君 若シアタラドウナリマスカ、萬ニモアッタラ……

○政府委員(平木弘君) 若シサウ云フコト

考ヘテ云コトハアリマセヌケレドモ、斯ウ

云フ風ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○村上恭一君 若シアタラドウナリマスカ、萬ニモアッタラ……

○政府委員(平木弘君) 若シサウ云フコト

ト云ツタ場合、恩給法上ノ遺族トハナラナ

イ、斯ウ云フコトニナリマス

○村上恭一君 此ノ人ハナラナイノデス

ガ、前ニ恩給ヲ受ケテ居ル人ノ権利ガ繼續

附ケル譯デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマスルノデスカ

○政府委員(平木弘君) 後ノ方ガ、例ヘバ

和ガ回復致シマシタ後ノ問題デアリマスル

ガ、此ノ甲地ヲ定メ乙地ヲ定メルト云フノ

リマス關係上、ソチラノ方ニ行ツテ居リマス

モ志願兵ノ志願及ビ再服役ト云フコトニ無

關係デハナイト思ヒマス、就キマシテハ此

ノ改正以後ニ於キマシテモ、別段是等ニ付

テ何モ心配スルヤウナコトノ影響ハナイト

云フ御見込デアリマスカ、尤モ現在ハ戰時

狀態デアリマスルカラ、サウ云フヤウナ

影響モ大シテ現レテ居リマセヌデセウガ、

平和ニ復シマシタ後ニ於テモ、是等ニ付テ

何モ多クノ考慮ヲ要シナイト云フ御見込デ

アリマセウガ、チョット御伺ヒシタイト思ヒ

マス

セヌガ、説明員ノ説明デ宜シウゴザイマス

○子爵波多野二郎君 結構デス

○説明員(村上一馬君) 陸軍ノ方カラ御答

ヨリ上ヶマヌ、只今ノ御事ハ要スルニ加算
ヲ減ジタ爲ニ士氣ニ影響シナイカト云フ御
申シマスカ、一部結論トシテハ減ラサレル
コトニナルノデアリマスガ、大體在勤加算
部減ラサレマスノト、現在デ申シマスト満
洲デゴザイマスガ、是モ非常ニ廣イ範囲ニ
減ラサレルト云フコトハ、陸軍側ト致シマ
シテハ考ヘテ居リマセヌデ、先程カラ御詰
モゴザイマシタヤウニ治安ノ非常ニ回復シ
タ部分、或ハ氣候風土等ノ關係デ、ドウシ
テモ奥地トサウ云フ所ト甚ダシク差ガアシ
ト、全部ノ何分ノ一ニナリマセウカ、大シ
タ數デモナイト考ヘテ居リマス、又軍部ニ
致シマシテハ、サウ廣イ範囲ニ之ヲ適用サ
レルトハ考ヘテ居リマセヌ、大部分ハ從來
通りノ加算ト云フ風ニ考ヘテ居リマスカ
ラ、格別士氣ニ影響ハシナイト云フ風ニ考
ヘテ居リマス

○男爵井田磐楠君 逐條デナク、一般的ノ時ニ御尋ネスベキ點デアッタカト思ヒマスガ、第十八條ニハ學校關係ニ關スル方々、所謂教育職員ニ關スル恩給ノ件ガアリマスガ、直接是ニハ關係ノナイ御尋デアリマスガ、多年私立ノ學校等ノ教職員ガ、等シク國家ノ大切な教育ニ參畫シテ居リナガラ、而モ是ハ公市立ノ學校等ニ鑑ミマスレバ、私立ノ學校ハ常に極ク薄イ給與ヲ貰ウテ同ジ教育ニ參畫ヲシテ居ル、何カ私立ノ中學等ノ教職員ニモ國家ガ恩給等ノコトヲ考ヘルベキナリト云フコトヲ、多年私共ハ教育方面ノ人カラ聽カサレテ居ルノデアリマス、國家ト致サレマシテ何カ斯ウ云フコトニ付テ、今迄御調查ニナッタコトガオアリデアリマスルカ、又將來ドウ云フ風ニ御考デアリマスルカ、之ヲ承リタイ

テ居リマス人々、例へバ各會社ノ會社員ノ如キ人々ニ付キマシテモ、恩給ト云フコトハ考ヘテ宜イコトニナリマス、デ國ト致シマシテ恩給ヲ與ヘ、或ハ府縣ニ於キマシテ恩給ヲ與ヘルト云フノハ、國ハ國ニ所屬シテ居ル者ニ恩給ヲ與ヘテ居リマス、ソレカラ府縣ニ於キマシテハ府縣ニ所屬スル所ノ吏員、ソレカラ町村ニ於キマシテハ町村ニ所屬スル所ノ吏員ト云フ者ニ恩給ヲ與ヘルコトニナッテ居リマスシ、同ジ形ヲ、又同ジ思想ヲ其ノ儘持ツテ參リマスレバ、私立學校ニ於キマシテハ獨立ニ其ノ私立學校ガ恩給ヲ與ヘ、各會社ナゾニ於キマシテハ、各會社ガ恩給ヲ與フベシト云フコトニナルト思ツテ居リマス、ソレデサウ云フ或ハ學校ニ於テ、或ハ各會社ニ於テ獨立ニ恩給ヲ與フルト云フコトヲ、之ヲ國家ガ強制スルカドウカト云フ、問題ガ殘サレテ居ル問題ノヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、或ハ會社ニ代り、或ハ學校ニ代り、國家ガ之ニ恩給ヲ與ヘルト云フコトハ、少シク筋ガ違ツテ居ルト云フ風ニ考ヘテ居リマスノデ、國ノ興與フル恩給ト云フ方ノ見地カラハ、只今迄ノ所是等ノ問題ハ取扱ツテ居リマセヌ、唯、一步退イテサウ云フヤウナ團體ト申シマセウカ、其處ニ屬スル人々ニモ、更ニ國ノ方カラモ恩給ヲヤッテ宜イノデハナイカト云フコトガ考ヘラレマスガ、是ハ例ノ養老年金ナンカト同ジ思想デ參ラオケレバナラヌト考ヘテ居リマス、其處迄今日國ノ財政方面カラ申シマシテモ到底負擔ニ堪ヘルモノデナイト云フコトモ考ヘテ居リマス、只今ノ所其ノ方面迄參ルト云フコトハ考ヘテ居リマセヌ、唯教育ト云フコトガソレ自體ガ國家ニ非常ニ直接ニ關係ノ深イコトデアリマスカラ、

一般産業ニ從事シテ居ル人々ナドトハ趣ヲ
餘程異ニシテ居リマス、考ヘナケレバナラ
ヌ點デアラウトハ存ジテ居リマスルガ、サ
ウ云フヤウナ所カラ只今迄未ダ其ノ制度ノ
施行ト云フコトハ考ヘテ居リマセヌジ、又
只今ノ所ニ於キマシテモ、近イ將來ニサウ
云フコトヲ實現シヨウトモ、政府側ノ方ニ
於キマシテ考ヘテ居リマセヌ

○男爵井田磐楠君 五十八條ノ先程カラ問
題ニナシテ居リマシタ高額受恩給者ノ所得
停止ノ問題デアリマスガ、是ハ案其ノモノヲ
ソックリ見マスルト、此ノイロハ、ニト云
フ四ツノ項目、ソレドヽ一割五分、二割、
或ハ二割五分、三割ト云ツア風ニ、數字ノ上
カラハ如何ニモ恩給者、又恩給外ノ所得者
モ同ジヤウナ額ガ取レルヤウニ見エマスル
ケレドモ、之ヲドノ項ニ當嵌ヌテ見マシテ
モ、恩給ガ少クシテサウシテ割合ニ所得外
ノ率ノ多イ人、又ソレニ反シテ恩給ガ非常
ニ多クシテ割合ニ恩給外ノ所得ノ少イ人、
茲ニ於テ全般ノ收入デハ同ジデアリマス
ルケレドモ、先程柴田委員ノ言ハレマシン
タ如クニ、ドチラカト云フト此ノ恩給方
餘計アリマシテ、恩給外ノ所得ノ少イ人ヨ
リハ、恩給外ノ所得ノ多イ人ノ方ガドチ
ラカト云フト生活ガ安定シテ居ルト云
ベキ筋ガ多イカト思フ、例ヘバ此ノニノ方
デ申シマシテ、恩給ハ千圓ダケレドモ、
恩給外ノ所得ガ三萬圓アルトカ、或ハ四萬
圓アルトカ、假ニ先程カラ五萬圓ト言ハ
レマスカラ五萬圓トシマスルト、片方ハ恩
給ヲドウ云フ方ガ一番多イカ知リマセ
ヌガ、假ニ恩給ガ五千圓アルトスル、後ハ
六千圓ト云フモノガ恩給外所得ト云フコト
ニナルト、却テ其ノ餘計收入ノアル人ノ方

ガ少イ三割カ引カレテ、サウシテ恩給ヨリ外ノ所得ノ少イ方ノ方ガ餘計引カレルド云フヤウナ形ニナリ、非常ニ是ハ公平ヲ失スルヤリ方ダト思ヒマスガ、其ノ邊ノ御解釋ハドウデアリマスカ

○政府委員(平木弘君) 只今御述ニナリマシタノハ御尤ノ御意見ダト思ヒマスガ、多額所得ノ恩給停止ヲヤリマス趣旨ハ、先程カラ申述ベマシタ通り、色々議論モアリマセウガ、主タル理由ハ、財政上ノ負擔ヲ軽クスルト云フ理由デアリマスルカラ、ドウシテモ恩給額ヲ擴マヘルト云フコトニナルンデヤナイカ、又サウスルノガ其ノ趣意ニ適フ所以デヤナイグラウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデゴザイマス、例ヘバ千圓未満ヲ……恩給ノ千圓未満ハ問題ニシテ居リマセヌノモ、千圓位ノ恩給ダッタラ國ニサウ大シタ負擔ニナラナイト云フ風ナ理由モアリマシテ、斯ウ云フ規定ノ設ケテ居ルト云フ風ナ趣意デアリマシテ、サウ云フ趣旨ガ全部一貫シテ居リマスカラ、只今御述ニナリマシタ點カラ考へマスレバ、全ク其ノ通りニナリマス、此ノ多額所得ノ趣旨ハサウ云フ所デヤナシニ、國ノ負擔ト云フ點ガ主ナル理由カラサウナツテ居リマス

○男爵井田鑑稿君 今最高恩給ヲ御貴ヒニナツテ居リマスノハ、ドノ位ノ額デスカ

○政府委員(平木弘君) 六千圓ノ方ガ一人デアリマス

ガ、ソレガシカリト分ラスト、今ノ色々ノ質問ガ根柢ガ立タスト思ヒマス、ソレデ茲ニ權利々々ト云フコトガアリマス、恩給ヲ與ヘラレルト云フヤウナコトモアル、恩給ハ與ヘラレルモノデアルカ、或ハ權利トシテ取ルベキモノデアルカ、其ノ邊ノ所ガ非常ニ條文ノ上ニ於テモ疑義ガアルト思ヒマス、ソレデ權利デアルナラバ、其ノ權利ヲ暫ク喪失スルト云フコトハ、チヨット問題デアラウト思ヒマス、恩給ト云フモノハ與ヘラレルモノデアルトスレバ、ドンナ少額デアッテモ、其ノ金額ニ依ラズ戴カナケレバナラヌモノダラウト思ヒマス、ソレガ如何ナル外ニ收入ガアリマシテモ、如何ニ少額ナル恩給デアリマシテモ、他ノ收入ニ比較シマシテ九牛ノ一毛デアリマシテモ、其ノ戴ク方ニ取シテハ金額ノ問題ヂヤナカラウト思フ、非常ナ有難イモノデアッテ、其ノ特典ヲ喪失スルコトハ非常ナ大キナ問題デハナイカト思ヒマス、其ノ點ニ付テ恩給ト云フモノノ意義ノ解釋ヲシテ戴キマシテ、併セテ此ノ條文ニ權利トアリマスノハ、私ハ今迄ハソレデ宜シカッタト思ヒマスケレドモ、今後ハ權利ト云フ文字ヲ條文ノ上カラ取シテ戴キタイト思フ、ソレニ付テ御意見ヲ拜聽致シタイト思ヒマス

カ、恩典ト申シマスカ、サウ云フモノト區別シテ、茲ニ権利ノ形態ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、何故此ノ権利ト云フ形態ヲ與ヘタカト申シマスレバ、恩給ハ申ス迄モナク、是ハ官吏ガ在職中一意專心公務ニ奉仕シ、給與ハ極メテ薄イ、他ニ收入ヲ得ル途ヘ塞ガレニセラレルモノデアリマスルカラ、官吏ノ退職後ノ生活ノ安定ニ極メテ重大ナル關係ヲ持ツ譯デアリマス、サウ云フ風ナ如何ニモ退職後ノ生活ノ安定ニ極メテ重大ナル關係ヲ持チマスルガ故ニ、之ハ一定ノ年限ヲ勤務シタ者ニハ、一定ノ金額ヲヤルト云フコトヲハッキリ致シテ置キマスコトガ、此ノ恩給ヲ給シマスル目的ヲ達シマスル上ニ於テ極メテ必要ナコトデヤナイカト、斯ウ考ヘルノデアリマス、若シ之ヲ他ノ勳章其ノ他ノ大權ト同ジヤウナ取扱ニナリマスト云フコトハ、恩給ノ性質カラ考ヘマシテ適當ナコトデヤナイカト、斯ウ云フ風ニ異ツテ居リテ居ルノデアリマス、サウ云フ風ニ實ハ考ヘマスル關係上、一定ノ年限ノ來タ者ニ對シマシテハ一定ノ金額ヲ給スル、若シ裁定官廳ガ不當ニ給シナイ場合ニハ、行政裁判所ニ訴訟スルコトガ出來ルト云フヤウナ建前ニナリマシテ、其ノ目的ヲ貫徹シテ居リマスガ、斯ウ云フ風ナコトヲ法デ認メルト云フコトニナリマスルト、是ハ普通法律ノ用モナイコトデアリマス、ソレデアリマスカ

ラ、権利ノ言葉ヲ使フコトガ宜イカドウカ
デヤナシニ、斯ウ云フ権利ノヤウナコトニ
シテ置クガ宜イカ、或ハ他ノ恩賞大權ト同
ジヤウニ、政府ノ專行事項ト申シマスカ、
或ハ專斷ト申シマスカ、斯ウ云フ法律ノ規
定ニ依ラヌ規定ニシタ方ガ宜イカト云フコ
トガ、結局ハ根本ノ理論ノ岐レル所デヤナ
イカト思フノデアリマス、其ノ點ニ付キマ
シテハ先程申上げマシタ趣旨カラ、恩給ハ
斯ウ云フ風ナ取扱ニ致シテ置クノガ適當チ
ヤナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマ
ス、サウ云フ風ナは法制上ノ建前デアリ
マスルガ、其ノ内容ニ於キマシテハ先程力
ラ申上ゲマシタ通りニ、官吏ノ退職後ノ生
活ヲ一部保障スル、安定セシメント云フ趣
旨ノモノデアリマスルカラ、之ヲ非常ニ多
額ニ停止スルト云フコトハ、或ハ不當ト云
フ問題ガ起ルカモ知レマセヌガ、或程度停
止スルト云フコトハ必ズシモ不當デヤナイ
ト、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、又法律
的ニ見マシテモ、權利デハアリマスケレド
モ、是ハ恩給法ニ依ツテ認メラレタ權利デ
ゴザイマスカラ、恩給法ノ改正ニ依リマシテ
ハ、或程度ノ内容ノ變更ヲ加ヘルト云フコ
トモ、必ズシモ違法デハナイノデヤナイ、
カ斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス
○黒崎定三君 チヨコト簡單ナコトヲ伺ヒ
タイト思ヒマス、ソレハ先程モ御話ニ出タ
コトデアリマスガ、此ノ多額所得者ノ恩給
停止ニ關スル事柄デスガ、今度其ノ停止率
ヲ増大スルニ付テノ理由ハ、先程ノ恩給局
長ノ御説明デ當局ノ御趣旨ハ拜承致シマシ
タガ、詰リアノ御趣旨カラ申シマスト、同
様ナ普通恩給デナイン扶助料、年金恩給デ
アル扶助料ヲ受ケテ居ル者ガ第三種所得ニ付

は相當多額ナ、即チ此處ニ謂フ四千圓若シク扶助料額ノ停止ト云フコトハ今ゴザイマセヌ、是ハ此ノ前カラモゴザイマセヌデシタガ、恐ラク財政負擔ノ輕減ト云フ趣旨カラ考ヘマスト、御調査ニハナッタコトデアラウカト思ヒマスケレドモ、若シ御調査ニナッタコトガスカ、或ハ相當アリ得ルコトデアリマスカ、御調査ニナッタコトデアラウト存ジマスカラ、若シ御分リニナッテ居レバ御話ヲ願ヒタイント思ヒマス、又モウ一ツハ、同様ナ事例ニ付テ、一時恩給ニ付キマシテモ多額ノ所得ヲ他方ニ持ツテ居ル人ニハ、一時恩給モ亦其ノ一部ヲ縮小シテモ宜イデヤナカラウカ、財政窮乏ノ折柄、窮乏ト云フ言葉ヲ使ッチャ惡イカモ知レマセヌ、其ノ財政上ノ負擔ヲ幾ラカデモマア輕クスルト云フ斯ウ云フ御趣旨カラ申シマスレバ、多額ノ所得アル時ニハ此ノ趣旨ヲ酌ムデ忍ムデ貰ハウト、恩給給與金トシテノ額ヲ幾ラカデモ減少スルト、斯ウ云フ趣旨カラ云ヘバ、一時恩給ニ付テモ同様ナコトガ考ヘラレ得ルカトモ考ヘラレマスガ、何カ其ノ一時恩給ニ付キ、又ハ扶助料受給者ニ付テノ御調査ガアルデゴザイマセウカ

考究スベキヂヤナイカト云フ論ハ御尤モトニ大キナ問題デナイト云フ點ガ恐ラク理由デヤナカツタラウカ、サウ云フ理由ニ依ッテ今迄問題ニナラナカツタノデヤナカラウカト私斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、一時扶助料ニ付キマシテモ同ジデアリマス、一時扶助料ハ年金デハアリマセヌノデ、サウ國家ノ負擔ニナルト云フ風ニ問題ガ深刻ニナラネイヤウナ感ジガアリマスルカラ、ソレデ今迄問題ニナラナカツタグラウト考ヘルノデゴザイマス、其ノ點ニ付キマシテハ、今後更ニ十分研究シタイト斯ウ云フ風ニ考ヘマス

○黒崎定三君 ソレカラ是ハ先程モ話ガ出タコトデアリマスガ、委託又ハ郵便ニ依ル戸籍ノ届出ガ受理セラレタ場合ノ遺族ニ對スル給與關係ノコトデアリマスガ、即チ條文デ申セバ七十二條ノ改正關係デアリマス、届出人ノ死亡後届書ガ二年内ニ受理セラレタル時ニ限ッテ是タトシテ第一項ノ規定ノ適用ニ付テハ、「同一ノ戸籍内ニ在リタルモノト看做スト」トスウ云フコトニナッテ居リマスガ、先達テ委託又ハ郵便ニ依ル戸籍ノ届出ニ關スル法律ノ審議ノ際ニ、司法當局カラ承々タ所ニ依リマスト、既ニ昨年デゴザイマシタカ、昨年カラ司法省民事局長ノ通牒ヲ以テ受理セラレテ居ル相當ノ件數ガアツタヤウデアリマス、而シテソレハ全部ドウナツテ居ルカト云ヘバ、全部受理セラレテ居ルト云フ御話ガアッタノデアリマス、其ノ中ニハ婚姻・縁組以外ノ届出事件モアツタヤウデアリマスケレドモ、併シ所謂事件ノ本人、届出人ガ死亡後ノ届出トナルモノガアッタ筈ニアリマスルガ、ソレハ其ノ者ニ付テハ矢

○黒崎定三君 附則ノ第五條、成ル程御示
ノ通リノコトガゴザイマス、成ル程只今ノ
點ハ第五條ニ規定ガアリマシタ、私ノ不注
意ノ致ス所デゴザイマス、但シ委託又ハ郵
便ニ依ル戸籍ノ届出督促法ノ時ニアノ法律
案ノ附則ニ付キマシテ、本法施行前ニ受付
ケラレタ、詰リ届出ノ受理セラレタ、戸籍ノ
届出事件ニ付テ、裁判所ノ確認ヲ求メ得ルト
云フコトガアリマシタガ、アレハ此ノ五條
デ裁判所ノ確認ヲ經タル場合、裁判所ノ確
認ハ後ニナル筈デス、サウスルト此ノ本法
ノ附則第五條ノ「確認ヲ經タル場合ニ限り届
出人死亡ノ時ニ遡リ云々」ト云フト、當該法
令ノアノ戸籍督促ノ法律ノ施行後二年間ニ
確認ノ裁判ノ確定シタル時ガ、二年間ニ受
理セラレタルコトト云フコトニナル筈デゴ
ザイマス

○政府委員(平木弘君) サウデゴザイマス
○黒崎定三君 ソコデモウ一度之ニ關聯致
シマシテ御伺ヒ致シタインデゴザイマス、
矢張リ此ノ規定ニ依リマシテ、二年間ニ受
理セラレタガ故ニ死亡ノ時ニ祖父、祖母、父、
母等、遺族トシテ是ト同一戸籍内ニ在リタ
ル者ト看做サル、者ニ給スベキ扶助料ハ、
届出受理ノ日ヨリ支給サレルコトニナッテ
居リマス、是ハ日割計算ニナルノデアリマ
ス、此ノ扶助料ノ金額ハ……一般ノ恩給又
ハ扶助料ノ支給ヲ始メル時期及支給ヲ止
メ、若シクハ停止スルノ時期ハ、其ノ事由
ノ生ジタル月トカ、或ハ其ノ翌月トカ云フ
月割計算ノヤウニ致シテ居ルノガ通例ノヤ

ウニ思ハレマスガ、此ノ場合ダケハ日割計算ニナルヤウニ考ヘラレマス、何故カナレバ七十四條ノ一項ガ只今讀上ダマシタヤウナ文句ニナッテ居リマスルノト、更ニ同條ノ二項ノ規定ニ依リマシテ、後デ七十三條第三項ノ規定ニ依ツテ公務員又ハ之ニ準ズベキ者ノ遺族ト看做サル、者ノ出現シテ來タ場合、生ジテ來タ場合、生ジテ來タ爲ニ扶助料ヲ受クルノ權利ヲ有ゼザリシコトトナル場合ニ於テモ、其ノ者ハ同様ニ規定スル戸籍届出ノ受理ノ時迄ノ分ニ付云々ト書イテアリマス、此處ハ時ト云フ文字ガ使ツテアリマス、文字論ヲスル譯デハアリマセヌガ、恐ラク是モ日デゴザイマセウ、若シ日ト解釋シマスルト、一日分ハ重複スルコトニナルノデアリマスガ、斯ウ云フ場合ガアル場合ガアル、サウ云フ風ニナルノデアリマスカ、是ハ其ノ前日迄ノ分ハ、今七十四條ノ二デ、第三項ニ依ツテ受クル者ハ、是ハ取返サナイト云フ趣旨デセウカラ、實際ソレハ取返サナクテモ宜イノデスガ、此ノ受理ノ時ト云フノハ、其ノ前日迄ノ分ハ其ノ者ニヤル、ソレカラ其ノ受理ノ日カラハ裁判確認ニナッテ遺族トナッタ者ニヤルト、斯ウ云フ御趣旨デゴザイマスカ

致シマスルト、此ノ趣旨カラノ推測スル所ニ依リマスト、司法省ガ曩ニ委託又ハ郵便ニ依ル戸籍ノ届出ニ關スル法律案ヲ御提出ニナリマシテ、本院ヲ通過致シマシタガ、而モ既ニ支那事變發生後、即チ昭和十二年七月七日以後、相當ノ戸籍届出事件ガ受理セラレテ居ルト云フコトデアリマシタガ、受理セラレテアルニ拘ラズ、恩給法上ノ給與ヲ受クベキ遺族トナツテハ居ナカッタ、斯ウ云フ風ニ想像サレルノデスガ、私ノ推測ガ或ハ誤ツテ居ルカモ知レマセヌ、即チ何故サウ云フコトヲ申スカト云ヒマスト、七十二條ノ改正規定ヲ拜見致シマスト、二年内ニ受理セラレタラバ、其ノ時ニ限ツテ死亡ノ時カラコレヽトシテ同一戸籍内ニ在リタルモノト看做スト云フ規定ガアリマスルシ、七十四條ノ二ノ第一項ヲ見マスルト、戸籍届出ノ受理ノ日カラ支給スルト、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、本來カラ云ヘバ、七十二條ノ現行法ノ第一項ノ適用カラ申シマスレバ、此ノ七十二條ノ改正規定ノ結果、同一戸籍内ニ在リタルモノト看做ス、死亡當時在リタルモノト看做スト云フノデスカラ、當然ニ死亡ノ時ノ遺族ニナツテ、恩給給與ノ支給ヲ受クベキ資格者ニナツテ居ル筈ト思フノデアリマス、ソレヲ特ニ七十
四條ノ二デ以テ、届出受理ノ日カラデナケレバヤラスト、斯ウマア制限ニナル譯デスネ、サウ云フ風ニ見エルノデス、ソコデ其ノ結果委託ニ依リテ本人死亡後受理セラレタル婚姻若シクハ縁組ノ届出ガアッタニ拘ラズ、ソレガ受理セラレテアッタニ拘ラズ、同一戸籍内ニナカツタ縁組若シクハ婚姻ガアッタカノヤウニ推測サレルノデス、是ハ寧ロ司法省ニ御伺ヒスル方ガ宜イト思フノデ

スガ、サウ云フ私ノ推測ハ間違テ居リマセ
ウカ、一ツ御教ヲ願ヒタイノデアリマス
○政府委員(坂野千里君) 只今ノ御尋ニゴ
ザイマスガ、民事局長ノ通牒ニ依リマスト
云フト、矢張リ受理ハサレテ居ルノデゴザ
イマス、恩給法ノ解釋ハソコノ所ガ、民事
局長ノ通牒ト恩給當局ノ恩給法ノ解釋トノ
間ガ、チョット違フノデヤナカト考ヘテ
居リマス

○黒崎定三君 サウ致シマスト、諄イヤウ
デゴザイマスガ、從前御受付ニナリマシタ
事案デ、同一戸籍内ニ入ラズシテ、詰リ死
亡ノ時ニハ同一戸籍内ニ入ラナイ、サウ云
フ入ラナイ女房ガアリ養子ガアッタ、斯
ウ云フコトニ考ヘテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(坂野千里君) 司法省ノ解釋ト
シテハ、ナイト考ヘテ居リマス

○黒崎定三君 サウ致シマスト、此ノ恩給
法ノ關係デハ同一戸籍内ニ在リタルニ拘ラ
ズ、茲デ受理ノ日カラデナケレバヤラヌ、
恩給ハ給與シナイ、斯ウ云フ趣旨ニ見エマ
スガ、ソレデ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(平木弘若) 其ノ問題ハ實ハス
ウ云フ事由カラ受理ノ日カラトシテ居ル譯
デゴザイマス、ト申シマスノハ大體父親ト
カ母親ガアルノガ普通デゴザイマス、尤モ
父モ母モ居ナイ公務員ガ戰死ヲシタ後、誰
モ扶助料ヲ貰ハヌト云フ家ガナイ譯ヂヤア
リマセヌケレドモ、大部分ハ父トカ母トカ
ガ居ル家庭ガ多イ、サウ致シマスト死亡ト
同時ニ其ノ父トカ母トカハ現在ノ恩給法ニ
依リマシテ、遺族扶助料ヲ受ケル權利ガア
リマスルカラ、直グ申請シテ遺族扶助料ヲ
貰フ譯ニアリマス、其ノ貰ッタ後デ、今度妻
ガ入籍スルト云フコトニナル場合ガ多イダ

來カラ云ヒマスレバ、妻ハ公務員ノ死亡ノ時カラ貴フノガ普通ノ考へ方ノヤウデアリマスルケレドモ、サウ致シマスルト云フト、一人ノ公務員ノ死亡ニ對シテ二本ノ遺族扶助料ヲ出スト云フコトハ面白クナイ、斯ウナリマスト、今迄父ヤ母ガ貴シテ居ッタ扶助料ハ返サナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニナリマス、サウシマスト、大體遺族扶助料ヲ返スノモ困難ナヤウナ家庭ガ多イノデヤナイグラウカ、ソレデ支給上ノ混亂ヲ避クル爲ニ、新シイ妻ニハ戸籍受理ノ日カラトシテ、父トカ母トカガ理論上考ヘルト、權利ガナクチタト云フヤウナ人迄モ、ソレハ戸籍ノ受理ノ日カラ扶助料ヲ出ス、斯ウ云フ建前デ此ノ規定ハ設ケテアリマス。

○政府委員(権員詮三君) 恩給局長カラ詳細ノ答辯ヲ申上ゲタノデ盡キテ居ルカモ存ジマセヌガ、私ガ之ヲ審査シ之ヲ是認シタコトニ關シマシテ多少ノ理由ヲ別ニ……別ニト云フ譯デハナイガ附加ヘテ見タイト思ヒマス、ソレハ今御話ノヤウニ、今度ノ司法省カラ出シマシタアノ法律デ、遡及シテ……實ハ届出ハ死亡ノ後ニ無論アルノデスケレドモ、法律上入レ、バ遡及シテ死亡ノ日ニ届出ガアツタモノトナル、從ツテ法律的ノ考へ方カラ申セバ、其ノ日ニ其ノ家ノ戸籍ニ入ツタコトニナル譯デアリマスガ、實際ハ其ノ後ニ届出ガアリマスルシ、又實際戸籍簿ニ載リマスコトハ死亡後ニ載ル譯デアリマス、從來恩給ニ於テハ御承知ノヤウニ形式的ニ其ノ日ニ戸籍簿ニ載ツテ居ラナケレバイケナイ、後カラ家族ニナツタ、遡及シテ或效力ヲ生ジタトシテモソレデハ困ル、實際ノ取扱ノ上カラ行キマシテ、遺族扶助

○柴田善三郎君 私ノハ少シ時間ガ掛リマスカラ、今日止メレバ止メテモ宜イノデスガ、御相談デスガ、明日ノ機会ヲ與ヘテ……
スカラ、ナッテ來マスト、例ヘバ抽象的ニ先順位者アルベキ者ガ行衛不明ニナツテ居ツタト云フヤウナ場合ニ、後ノ者ハズット貰フコトガ出來ナイト云フヤウナコトニモナリ、非常ニ困ル力テ、ソコデ御承知ノヤウニ形式的ニ戸籍簿ニ載ツテ居ル者ヲ捉マヘテ來テ取扱ハウト云フコトニ致シテ居ツタ譯デアリマス、處方今度ハ實際ハ戸籍簿ニ載ルノハ死亡ノ遙カ後ダ、場合ニ依レバ數年後デアルカモ知レナイト云フヤウナコトニナリマスノデスカラ、思想的ニ遡及シテ死亡ノ日ニ其ノ戸籍簿ノ中ニ入ツタモノト考ヘテ見テモ、實際ニ於テハソニ後ノ烏ガ先ニナルト申シマセウカ、別ノモノニ給興ヲシナケレバナラヌ、親ガアレバ親ノ方ニ扶助料モヤツテ行カナケレバナラヌ、處ガ幾年カ經ツテカラ女房ノ籍ガ委託届デ入ツタト云フコトデ、初メカラ引ックリ返シテ女房ノ方ガ初メカラ取ルノデ、親父ノ方ハ返セト云フヤウナコトニナリマスト、非常ニ是ハ困ルト云フ所カラシテ、非常ニ嚴格ナ法理論ヲ離レテ、サウ云フ實際上ノ取扱ト云フモノヲ多分ニ加味シマシテ、此ノ原案ノヤウナモノガ出来上ヅタヤウナ譯ナノデアリマス、理論カラ申スト物足ラナイ、食ヒ足ラナイ所ガ多分ニアリマスケレドモ、ドウモ斯ウスルヨリ外ハナイト考ヘテ居ツタヤウナ次第デアリマ

此ノ機會ヲ與ヘテ戴ケレバ別デスガ、停止規定ノ點ニ付テモウ少シ承リタイ點ガアルノデス、少し時間ヲ要スルト思ヒマス、明日後日機會ヲ與ヘテ戴ケレバ今日ハ宜シウゴザイマスガ、今日マダ……

○委員長(子爵加藤泰通君) 斯ウ云フ風ニ
取扱ヒタイト思フノデス、明日ハ祭日デ休
ミマス、明後日ハ午前中十時カラ十二時迄ヤ
ハ速記ガアリマスガ、午後ハ外ニ取ラレル
ノデ速記方ナクナルノデス、ソレデ明後日
ハ……二十二日ハ午前十時カラ十二時迄ヤ
ルコトニナリマスガ、ドウデス、マダ時間
モアリマスカラ、今日ヤツテシマツテ戴キマ
セウ、アナタノ御質問ハ……

○柴田善三郎君 午前二時半致シマシタ
恩給停止ノ規定デアリマス、殊ニ多額所得者ニ對スル停止ノ規定ニ付テモウ少シ承リ
タイト思ヒマス、午前ノ質問ニ對スル御答辯ニ依リマシテ幾ラカ分夕點モアリマス
ルケレドモ、大體今日ノヤウナ時期ニ停止ヲ擴大サレルコトハ宜イ、併シ下ノ方ニ擴大サレルト云フコトハ適當デナイト云フコトハ私尙考ガ變ラナインデアリマス、ソレト第二點ニハ、上下ハ別問題ニシテモ、刻ミ方ガ細カ過ギルト云フ考、是モ私ドウモ
午前ト同ジャウナ考ヘ方ヲ致シテ居リマス、ソレカラ第三點ハ、サウ云フ考デアリマス
ルガ、若シモ刻ムナラバ、下ヘノ刻ミヲ入
レルヨリモ上ヘノ刻ミヲ入ルベキガ本來
デアリマス、今回ハ下ヘノ刻ミヲ深クシテ、
而シテ上ヘノ刻ミト云フモノハ割合ニ淺イ、
斯ウ云フ感ジガ致ス、申上ゲ方ガ抽象的カ
モ存ジマセヌガ、例ヘバ今回、金額デ申シ
マスト、從來ノ恩給以外ノ所得五千圓ト云
フモノヲ中心ニ置キマシテ、ソレヲ下ノ方

ト云フ二段階ヲ加ヘラレテ居ル、此ノ金額ノ程度デ所得ニ依テ率ヲ異ニシテ課税ヲスルイデヤナイカ、例ヘバ今度御提案ニナリマシタ相續税ハドウ云フヤウニナッテ居ルカ、ルト云フコトヲ本體トシテ居ル、性質トシリ居ルモノデサヘモ、五千圓カラ一萬圓、二萬圓ト云フヤウナ段階ヲ踏ンデ居ルノデアリマス、五千圓カラ一萬圓、二萬圓ト云七千圓、一萬圓ト云フヤウナ段階ニナッテフヤウナ刻ミ方ガ多クナッテ居ル、所得税ニ付テデサヘモ只今申シマシタヤウニ五千圓、アリマス、五千圓カラ一萬圓、二萬圓ト云日本ニ一人カ二人シカナイト云フ客體モ捉ヘテ、サウシテ高イ率ヲ課スルト云フコトヲ致シテ居ルノハ是ハ當然ノコトト思フ、デアルカラドウモ客體ガ少イト云フコトヲ私ハ了承シ兼ネル點デアリマス、ソレモウサウ云フモノニ付テダケ一つノ法律ヲ作ルト、斯ウ云フコトナラ、是ハ僅カナ客體ヲ捉ヘテサウシテ其ノ爲ニ立法ヲスルト云フコトハ、是ハ避ケナケレバナラヌデアリマセウ、併シナガラ斯ウ云フ風ニ數十萬人ノ人ヲ捉ヘテ數十萬ノ人ノ中カラ斯ウ云フモノニハ斯ウ云フコトヲスル、斯ウ云フモノニ對シテハ斯ウスルト云フコトヲ規定ニナルノデアリマスルカラ、假令ソレガ一人デアツテモ、該當者ガアレバ、其ノ者ニ對シテ他ノ者トハ達ツタ掛ケ方ヲスル、是ハ立法ノ當然ノコトデアル、斯ウ云フ風ニ疑問ヲ持ツノデアリマス、ソレカラ更ニ先程全額ヲ停止スルト云フコトハ、是ハ餘リ激變ダト云フヤウナ御話モアリマシタ、之ニハ私トシテモ再考致シテ見ナケレバナラナイカモ知レナイ、併シソレガ激變デアルト云フコトナラバ、必ズシモ全額ノ停止デナクトモ宜イ、或ハ他ノ所得者ト同ジヤウニ是亦千圓ハ下ラスト云フ規定ヲ置

ト思ヒマス、唯全額停止ダカライケナイト
云フ風ニノミ御考ニナラズシテマア貴方方
ノ行キ方カラスルナラバ一万一千圓デ抑ヘ
ラレルニ止メズシテ或ハソレ以上ノ三萬圓
ハ五割ヲ減ズル、五萬圓ハ七割ヲ減ズル、一
萬圓ハ千圓迄ノ程度ニシテ假ニ九割ニ該當
シテモ其ノモノハ停止スルト云フ種類ノ法律ハ
ノガドウモ合理的デヤナイカト私ハ思ヒマ
ス、ソレデ大體恩給年限ヲ延長スルトカ恩
給額ヲ停止スルトカサウ云フ種類ノ法律ハ
屢々改正スベキモノデヤナイト云フ是ハ私
國ノ政策トシテ當然大局カラ見テサウ云フ
行キ方ヲシナケレバナラヌモノダト思ヒマ
ス、斯ウ云フ昭和八年ニ僅ニ恩給ヲ十五年
ヲ十七年ニ延バシタ、マア色々御意見モア
リマスガ、之ヲ數年ヲ出デズシテ又二十年
ニ延バス、或ハ或時ニハ二十年ヲ二十五年
ニシタト云フヤウナコトハ是ハ獨り所得者
ニ不安ナ考ヲ懷カセルト云フノデヤナイ、
斯様ナ立法ヲ若シ爲スト云フ場合ニハ政府
自ラガ社會ヲ極メテ不安ニ導クモノト思
フ、私ハ社會ノ根柢ノ問題トシテモ是ハ相
當ニ深ク考ヘナケレバナラヌ問題デアルト
斯ウ云フ風ニ考ヘマス、サウ云フ所カラ停
止ノ問題、金額ニスレバ僅カニ百數十萬圓
ノモノデアリマスケレドモ、是モ見方ニ依
リマスレバ一つノ思想上ノ根柢ヲ以テ或ハ
反對スルト云フヤウナモノモアルノデアリ
マス、併シ今日ノ社會ノ組立ヲ根本カラ變
ヘテシマフト云フヤウナ理論カラ來ルナラ
バ格別デアルガ、併シ今日ノ社會ノ組織ヲ
カラ言フナラバ斯ウ云フ規定ハサウ屢々改
正スベキモノデヤナイト思ヒマス、ソレデ

サウ云フ見解カラ致シマスナラバ私ハ今回ノ
案ニ賛成ヲ致シマシテモ多額所得ノ規定ニ
付キマシテハ、一兩年ヲ出デズシテ必ズヤ
之ヲ再び改正シナケレバナラヌ時期ガ來ル
ニナリマスカ、昭和八年ニ斯ウ云フ規定ヲ
申上ゲマシタヤウニ根本ニ於テ甚ダ合理的
デナイ點ガアル、サウスルトドウ云フコト
非常ナ不安ナ感ジヲ懷カセル、是ガ唯比較
的社會ノ上位ニアル、或ハ中位以上ニアル
階級ノ問題ダカラトシテ看過致ス譯ニ行カ
ス問題デハナイカ、見方ニ依レバ斯ウ云フ
ヤウナ不用意ノ點カラ國家ニハ非常ナ禍根
一部ノ官吏ガ此ノ恩惠ニ浴スルカ否カト云
ハ決シテ是ハ一應皆サンハドウ云フ風ニ御
考ニナリマスカ、小サナ問題ナリトシテ唯
ガ生ジルト云フゴトガアルモノデアル、私
フヤウナ小サナ問題ダト云フ風ニ御考ニナ
ルモノデハナイト私ハ確信致シテ居ルノデ
アリマス、斯ウ云フ點カラ申シマスト云フ
ト或ハ高額所得ニ關スル改正案ハ此ノ際現
行通リニシテ暫ク御見合セニナル、來年ニ
於テモット一層合理的ニシテ今年ハ御提案
ヲ控ヘラレル、サモナケレバ最モ不合理ト
スル點、即チ上ニ對スル刻ミ方ガ大キニ失
スルト云フ點ヲ此ノ場合修正スルト云フ此
ノ二ツノ中ノ一つシカ途ガナイト私ハ考ヘ
ルノデアリマス、此ノ點ニ付テノ政府ノ御
所見ヲ承リタイト存ジマス、而シテ是ハ私
相當國家トシテ大キイ問題ニナルト云フ風
ナ考ヘ方ヲ致シテ居リマスルカラ、マア考
ハ致シマスケレドモ、結果ニ依ッテハ相當強
き主張ヲ致サナケレバナラヌカト思フノデ

アリマス、此ノ場合直グ御答辯ガ願ヘタラ
ソレデモ結構デアリマスシ、若シサウデア
リマセヌケレバ、御相談スベキ所ヘ篤ト御
相談ヲ戴イタ上デ御答辯戴イテモ宜イト思
ヒマス、此ノ段御伺ヒ致シタイト思ヒマス
○政府委員(樋口詮三君) 只今柴田サンカラ
ラ重大ナ御質問ガアリマシタノデス、色々
御舉ゲニナリマシタ根據ヲ傾承ヲ致シタ議
デアリマス、政府ハ固ヨリ今回ノ案ヲ以チ
マシテ、是ガ今日ニ於ケル正當ナ案ダト云
フコトヲ考ヘテ居リマス、只今御示ノ如クマ
ニ、此ノ上ニ更ニ段階ヲ作ルト云フコトモ
考ヘ得ナイゴトデヤアリマセヌ、ソレカラ
又此ノ下ノ方ヘ切下グタト云フコトモ、色
々ノ批評モアルコトグラウト思ヒマス、併
シ此ノ多額所得者ノ停止ニ關シマシテハ、
之ヲモット停止スベシト云フ議論モアリマ
ス、ソレカラ本日ニ於キマシテモ色々承ッタ
ヤウナ、此ノ停止ナドハ擴大スペキモノデ
ハナイ、少クトモ此ノ時期ニ於テ一方ニ増
稅ハアリ、物價ハ昂騰シテ居ルヤウナ此ノ
時期ニ於テ、必ズシモ適當デナイト云フ、
斯ウ云フ御議論モ承ツテ居リマス、是ニモ相
當ノ根據ガアルト云フコトヲ承知致シテ居
リマス、致シマスガ、只今御提案ニナリマ
シタヤウナ趣旨ニ、即チ此ノ案ヲ撤回シテ、
モット徹底シタモノヲ來年提出スルト云フ
コトニスルカ、或ハ上ノ方ニ大キナ別ミヲ
置キ、而シテモット高率ナル停止ヲ爲スベ
シ、斯ウ云フ御議論ニ付キマシテハ、政府
ハ今迄ノ所デハ、サウ云フコトヲ致サウト
考ヘテ居リマセヌカラ、私一政府委員ト致
ヒマスノデ、能ク總理大臣トモ打合セマシ

○柴田善三郎君 ソレヲ私ハ保留致シマス
○三井清一郎君 チヨット是ハ参考ニ承テ置キマス、此ノ恩給法ハ元來大正十二年ニ根本改正ニナツテ、非常ナ多數ナ法令ヲ廢止シテ御纏メニナツテ居リマス、其ノ後昭和八年ニ柴田サンガ大イニ主張セザレテ改正ニナツタト云フヤウナ話デス、其ノ改正ノ際ニ矢張リ本法施行前ノ恩給ハ從前ノ規定ニ依ルト云フ風ニ、既得ノ權利ヲ害セナイヤウニ、附則デ色々ト之ヲ尊重スル規則ガ出来テ、實行シテ來タノデアリマス、然ルニ昭和八年ニ色々ノ改正ヲヤツタ時分ニハ既得ノ權利ヲ無視シテ遡及シテシマツタ、現ニ今柴田サンノ御議論ニアルコトノ如キハ遡及ヲシタ、是ハ當時ノ事情已ムヲ得ズ、又政府ノ説明ノ通リダカラ、議會モ協賛シタノデアリマスカラ仕方ガアリマセヌガ、今回ノハソコハハツキリチヨット説明ガナインオースガ、矢張リ遡及スルノデアリマセウカ、ドウカ、其ノ點ヲ一ツドウゾ……

○政府委員(平木弘君) 只今ノ今度ノ多額所得ノ停止ノ規定ハ、從前裁定サレタ恩給ニ付テヨ適用ニナルカドウカノ問題デアリマスルガ、此ノ前ノ昭和八年ノ法律ハ、附則ノ第二條ニ依リマシテ、是モ簡単デゴザイマスカラ讀上ダマス「本法施行前給與事由ノ生ジタル恩給ニ付キマシテハ從前ノ規定ニ依ル、斯ウ云フ法文ガ設ケラレタノデアリマス、ソレデアリマスルカラ、此ノ規定ダケデアリマスルト云フト、

多額所得モ從前ノヤウニ給與事由ノ生ジタル場合ニハ適用ニナラヌト云フコトニナリマスカラ、其處ニ但書ヲ設ケマシテ「第十八條第一項第四號ノ改正規定ハ本法施行前給與事由ノ生ジタル恩給ニ付テモ之ヲ適用ス」斯ウ云フ規定ガ十九頁ニゴザイマス、今度ハ外ニ斯ウ云フ問題ガアリマセヌカ、ラ、此ノ時ノヤウナ本法施行前給與事由ノ生ジタル場合ニハ從前ノ規定ニ依ルト云フ規定ガ必要ガアリマセヌデシタカラ、從ツテシナカッタ、斯ウ云フルコトニナル譯デゴザイマス

○三井清一郎君 自然遡及スル譯ニナリマスネ

○政府委員(平木弘君) ハア……

○三井清一郎君 サウスルト、此ノ加算年等ニ付テハ從前ノ規定ニ依ル、本法施行前ノ細則、從前ノ規定ニ依ルガ、此ノ高額所得ニ付テハ昭和八年ノ法律ノ何ニ基イテ遡及スル、處ガ此ノ恩給法ノ通算、或ハ再就職、其ノ他ノ條項カラ考ヘマスト、國ノ恩給ト宮内省恩給ハ共通ニナツテ居リマスネ、承ルニ宮内省恩給ハ遡及シナカッタト云フヤウニ承テ居リマスガ、サウスレバ今後モ矢張リ遡及シナイデ、國ノ恩給ヲ受ケタモノト、官内省ノ恩給ヲ受ケタモノト、恩給ハ總テ通算シテ、國ノ恩給ト同ジクナツテ居ルガ、此ノ點ダケ、違ツテ居ルヤウニ思ヒマスガ……

○政府委員(樋貝詮三君) 只今宮内省ノ方ハチヨツト失念シテ居リマシタノデ……

○三井清一郎君 唯承サテ置ケバ宜イ

○政府委員(樋貝詮三君) 或ハサウナツテ居タカモ知レマセヌガ、御承知ノ通リニ宮

内省ノ方ハ宮内省ノ方デ大體ハ政府ノ方ト
歩調ヲ一緒ニシテ居リマスケレドモ、外ノ
點デモ餘程違ッタ所ガアリマス、例ヘバ停止
額ニ關シマシテモ、確カ國ノ方ノ恩給トハ
餘程違ッテ居ッタヤウニ思ッテ居リマス、ソレ
デ今ノ停止ト申シマシタノハ、外ノ方ノ事
由ニ依ル停止デス、此ノ點ニ關シマシテモ、
其ノ經過的規正ヲドウ云フ風ニ致シテ居リ
マシタカ、或ハ御話ノ通リニナシテ居ッタカ
モ知レマセヌ、今回ノニ付キマシテハドウ
致シマスルカ、國ノガ出來上ルニ付テハコ
チラノ方ニ斯ウ云フ風ナ改正ヲスルカラト
云フコトヲ向フヘ申シ傳ヘテ置キマシタノ
デ、宮内省ノ方デハソレニ歩調ヲ揃ヘテ同
ジヤウニヤツテ吳レルダラウトハ考ヘテ居
リマスガ、マダ何トモ確答ヲ得テ居リマセ
ス

○三井清一郎君 モウーツ軍部ノ方ニ説明

ヲ承リタイト思ヒマス、今度ノ恩給法ノ改
正デ、非常ニ勤務狀態、其ノ他土地等ニ付
テ御研究ニナシテ誠ニ適切ナ加算年限ノ改
正デアリマスルガ、加算年限ノ改正ハ、殊
ニ下士官ト申シマスカ、兵ト申シマスカ、
下士官兵デアリマスガ、此ノ加算年限ノ増
加ヲ期待スルノハ、恩給ヲ頂戴スルト云フ
ヨリモ寧ロ敍勳ガ早クナッテ、勳章ガ貰ヒ
タイト云フコトガ、非常ニ我々ガ現職中ニ
ハ熱望デアッタ、是等ニ付テハ無論十分御研
究ノ上ダラウト思ヒマスガ、斯ウ云フ點カ
ラ若干士氣ニ影響ヲ及サヌカト心配スル、
モウーツハ、此ノ恩給ノ改正ニモ亦恩給法
ニモ出テ居リマセヌガ、是ハ陸海軍トモア
ラウト思ヒマスガ、爆發物ノ製造、其ノ他火
薬ノ取扱ハ非常ニ健康ヲ害スル、現ニ我々
ガ在職中デモ、此ノ業務ニ從事シタ者ノ生

○説明員(村山一馬君) 只今ノ勳章ノ加算

ニ非常ニ魅力ヲ持ツテ居ルト云フ御話ハ確
カニ其ノ通りデゴザイマシテ、特ニ現役將
校ガ恩給ヲ在職中ニドウショウト云フヤウ
ナ考ハ、先づ持ツテ居ナイノガ大部分ダト
考ヘテ居リマス、處デ今度ノ加算ノ減額ニ
ナリマスノデスガ、從來トモ此ノ植民地在
勤加算ニ對シテハ、敍勳ノ方ノ通算ハ認メ
ラレテ居リマセヌ、今回ノ整理ニ依リマシ
テ受ケマスノハ、所謂戰地加算トカ、サウ

○三井清一郎君 モウーツ爆薬等ノ關係

此ノ國境加算モ敍勳ノ方ニ認メラレテ居リ
マスガ、滿洲ニ於ケル今度出來マスニ箇
月ノ加算ト云フノハ、從來ノ國境加算ト同
ジヤウニシテ貰シテハ困ルト云フノデ、當局
ノ方ニ申上げマシテ、是ハ從來ノ加算ハ同
ジヤウニ交渉ヲ進メテ居リマス、而シテ先
程モ申上げマシタヤウニ、滿洲ノ戰地加算
ヲ低下サレルト云フ區域ハ一部ニ限ラレマ
シテ、而モ軍自體ニ於テ、奥地ノ不毛ノ地
ト新京ト同様ニ取扱フト云フコトモ工合ガ
悪イト、軍自體ノ内部カラサウ云フ聲ガゴ
ザイマスノデ、ソレヲ或程度ノ整理ヲシテ

○委員長(子爵加藤泰通君) 他ニ御質問ハ

今ノ説明デ能ク了承シマシタガ、ドウゾ成
ルベク加算年限ハ、敍勳ノ方ニ及スヤウニ御

スモノニ對スル加算ハ既ニ設定サレテ居リ
マス

○三井清一郎君 左様デゴザイマスカ、只

ゴザイマセヌカ、然ラバ今日ハ此ノ程度デ

閉會ヲシタイト思ヒマス、先刻チヨット申

上げマシタガ、明日ハ祭日デ休ミマス、明

後二十二日午前十時カラ開會致シマス

午後三時五十七分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵加藤 泰通君

副委員長 男爵渡邊 修二君

公爵鷹司 信輔君

侯爵井上 三郎君

子爵米田 國臣君

子爵波多野二郎君

村上 恭一君

三井清一郎君

柴田善三郎君

男爵井田 鏡浦君

黒崎 定三君

男爵井上 清純君

結城 安次君

説明員

政府委員

内閣恩給局長 平木 弘君

法制局長官 廣瀬 久忠君

司法省民事局長 坂野 詮三君

陸軍歩兵中佐 村山 一馬君

海軍中佐 長尾 茂君

千葉県

二二

昭和十五年三月二十一日印刷

昭和十五年三月二十一日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局